

令和6年度

新入生保護者教育懇談会 事務系所管部署の案内

○ 修学・学籍関係 教務部教務課	2～19頁
○ 学生生活関係 学生生活課	20～25頁
○ 海外研修・留学関係 国際交流課	26～31頁
○ 就職関係 キャリアセンター	32～53頁

大阪産業大学
大阪産業大学後援会

大学 学長 ご 挨拶

ご子息、ご息女の本学へのご入学、おめでとうございます。これまで成長を見守り支えてこられましたご家族の皆様、心よりお祝い申し上げます。

本学では、建学の精神「偉大なる平凡人たれ」のもと学生の皆さんに社会で活躍していただくため、教育・研究活動の更なる向上を図るための活動を絶え間なく行っております。また入学した後の修学支援、就職支援も積極的に実施し、面倒見のよい大学を目指して教職員一同が努力しています。本学へのご理解とご支援をいただければと存じます。

ご子息・ご息女が入学されるにあたり、大学で学ぶ意味は何か、大学で身に付ける能力とは何か、について本冊子の54ページ「大学で学ぶ意味」の章に記しておりますので、ぜひご一読ください。

本日は誠におめでとうございます。

令和6年4月1日

大阪産業大学

学 長 小川 和彦

後援会 会長 ご 挨拶

この度はご子息・ご息女の大阪産業大学ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆様を後援会の新会員としてお迎えすることができ大変嬉しく思っております。

さて、本学後援会は、在学生の保護者の皆様によって組織される保護者会です。お陰様で今年が発足して50年の節目を迎えることとなります。

後援会の趣旨は「大学と家庭の連絡を密にし、学生の福利厚生を支援すると共に、大学の発展に寄与する」ことであり、この趣旨に沿って活動してまいりました。学生の皆さんが有意義な学生生活を過ごされ、目標に向かって邁進されるよう後援会が全力でサポートさせていただきたいと思っております。

今後も充実した後援会活動となるよう取り組んで参りますので、会員の皆様のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年4月1日

大阪産業大学後援会

会 長 麻田 博之

令和5年度
大阪産業大学後援会 常任委員

役 職	氏 名	所属学科
会 長	麻 田 博 之	経 済 学 科
副 会 長	添 田 由 美	国 際 経 済 学 科
〃	西 垣 由 美 子	環 境 理 工 学 科
〃	小 林 知 子	国 際 学 科
会 計 委 員	奥 和 美	経 営 学 科
〃	真 利 谷 加 奈 子	国 際 経 済 学 科
会 計 監 査	濱 本 利 江 子	商 学 科
〃	富 田 陽 一	都 市 創 造 工 学 科
〃	山 田 淳 子	ス ポ ー ツ 健 康 学 科
常 任 委 員	松 本 道 代	経 営 学 科
〃	岡 林 小 百 合	経 済 学 科
〃	北 澤 陽 子	経 済 学 部
〃	齋 藤 隆 仁	交 通 機 械 工 学 科
〃	河 野 裕	ス ポ ー ツ 健 康 学 科
〃	上 野 友 規	都 市 創 造 工 学 科
〃	赤 木 真 由 美	都 市 創 造 工 学 科
〃	金 子 美 紀	商 学 科
〃	箕 野 尚 子	建 築・環 境 デ ザ イン 学 科
〃	酒 井 芳 美	機 械 工 学 科
〃	山 本 加 奈 子	国 際 学 科
〃	大 源 久 美 子	環 境 理 工 学 科
〃(北陸地区支部長)	藤 島 紘 美	都 市 創 造 工 学 科
〃(滋賀支部長)	林 由 香 理	商 学 科
〃(京都支部長)	山 野 一 幸	国 際 学 部
〃(三重・奈良地区支部長)	松 田 智 恵	電 子 情 報 通 信 工 学 科
〃(岡山地区支部長)	柴 田 展 宏	電 子 情 報 通 信 工 学 科
〃(西中国地区支部長)	三 宅 恵	都 市 創 造 工 学 科
〃(四国地区支部長)	前 田 廣 明	ス ポ ー ツ 健 康 学 科

令和6年3月31日現在

令和5年度
大阪産業大学後援会 幹事会構成委員

氏 名	大学役員名・所属学科・所属部署
大 槻 伸 吾	後 援 会 幹 事 長 学 生 部 長 ス ポ ー ツ 健 康 学 科
佐 藤 潤 一	教 務 部 長 国 際 学 科
田 中 彰	キ ャ リ ア セ ン タ ー 長 商 学 科
藤 岡 克 則	国 際 学 科
齋 藤 好 史	ス ポ ー ツ 健 康 学 科
渡 邊 輝 幸	経 営 学 科
永 田 靖	商 学 科
岡 田 光 平	経 済 学 科
李 昌 訓	国 際 経 済 学 科
宇 佐 美 清 章	情 報 シ ス テ ム 学 科
吉 田 淳 一	建 築・環 境 デ ザ イン 学 科
赤 石 大 輔	環 境 理 工 学 科
大 橋 美 奈 子	機 械 工 学 科
浅 田 晴 香	交 通 機 械 工 学 科
玉 井 昌 宏	都 市 創 造 工 学 科
望 月 誠 二	電 気 電 子 情 報 工 学 科
宮 寄 和 美	全 学 教 育 機 構
川 添 伸 昭	教 務 部 部 長
勝 野 友 之	キ ャ リ ア セ ン タ ー 部 長
小 西 正 彦	学 生 部 次 長
小 林 信	事 務 部 長
植 野 修 平	事 務 部 庶 務 課 長
篠 本 弘 道	後 援 会 担 当 課 長
奥 田 い づ み	後 援 会 事 務 局

令和6年3月31日現在

修学・学籍関係

■教務部教務課の主な取扱い業務（窓口）

教務課は、学生の修学（成績・履修・試験）、学籍（休学・退学・授業料延納）、欠席届（傷病・冠婚葬祭など）などに関する総合窓口です。主な取扱い内容は、次のとおりです。

(1) 成績・単位修得管理業務

成績発表、単位修得（卒業）に関する相談や指導・助言、事務処理を行います。

(2) 履修（時間割）・授業に関する指導業務

履修（時間割）申請、授業に関する相談や指導・助言、事務処理を行います。

(3) 試験に関する業務

定期試験（追試験）の日程作成および運営、追試験の受付・事務処理を行います。

(4) 学籍管理業務

休学・退学など、学生異動に関する相談や指導・助言、氏名変更、住所変更、学生証の再交付など各種届出に関する受付・事務処理を行います。

(5) 授業料（等）の延納に関する業務

期限までに授業料（等）を納入できない場合、納入期限内に延納願等の届出（手続）により、納入期限を延長できます。（なお、別途手数料が必要となる場合があります。）

(6) 修学（成績・履修・試験）に関する冊子・資料等の作成業務

講義時間割表、ハンドブック等の作成・配布および Web 掲載、シラバス（授業計画書）の Web 掲載などを行います。

(7) 資格（免許）に関する業務

所管省庁から認可、認定を受けた資格（免許）などについて相談に応じます。
※教員免許については、教職教育センターにて相談に応じます。

(8) 欠席に関する業務

欠席届の受付を行います。

(9) 転籍、再入学に関する業務

学部学科を変えたいとき、除籍・退学になった者が、再入学したい時に相談に応じます。

(10) 証明書交付業務

成績、在学（在籍）、通学（学割）、資格に関する証明書を発行します。

■教務部教務課の連絡先（場所）

(1)場 所：中央キャンパス本館1階

(2)受付時間：月曜～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:30

夏期休暇中は月曜～金曜の10:00～16:00で対応を予定しております。

日曜、祝祭日、夏期および冬期一斉休業期間は休みとなります。

なお、祝祭日に授業を実施する場合は、受付時間にて対応します。

(3)連絡先：所在地 〒574-8530 大阪府大東市中垣内3-1-1

大阪産業大学 教務部 教務課

電話 072-875-3001（代表）

E-mail【修学・学籍の一般事項】kyoumu-ml@cnt.osaka-sandai.ac.jp

■履修申請・授業

大学は高校時代と異なって、自分自身で履修（時間割）の計画を立てて学習します。

カリキュラム、単位、履修申請、クラス登録、卒業要件など初めて目にする用語について理解し、卒業までの道筋を考慮しつつ1年間の時間割を決めることから大学生活が始まります。ここでは卒業するまでの修学方法の概略を説明します。（詳細はハンドブックで確認をしてください。）

(1) 単位制

- ①学生1人1人が自分の受講したい科目を選んで履修登録し、授業に出席してさらに、試験に合格（試験のない科目もあります）することで、科目毎に単位が認定されます。
- ②各学部で定められている卒業要件単位数（編入生は別途指定）を在学中に修得します。単位が認定されなかった（不合格となった）科目をもう一度履修したい場合は、次年度以降に再度履修申請をしてください。
- ③卒業要件単位数 124単位（ただし、学部・学科により修得要件が異なります。）
- ④履修や授業に関する情報は、ポータルシステムあるいはガイダンスによって連絡しますので、ポータルシステムを常に確認してください。ガイダンスにも必ず出席してください。
注：ポータルシステム（Portal-OSU）とは、Web上で情報（お知らせ、講義連絡、休講、補講等）を提供する総合案内システムです。
- ⑤科目の中には、必ず修得しなければならない必修科目や、一定の科目群の中から選択して指定された単位数を修得しなければならない選択必修科目などがあるので注意して履修を計画してください。

(2) 履修申請

自らの学習目標の成果を得るとともに、卒業するために必要な条件（卒業要件単位）を満たすため、ハンドブックやシラバス（授業計画書）を参考に、自分が受講したい科目を選んで独自の時間割を作成する手続きが履修申請です。毎年3月下旬から4月中旬の期間に、パソコンにより、Web上で申請を行います。詳細は、Web履修申請ガイドブック・ハンドブックで確認してください。（9月下旬には後期開講の一部科目で修正の申請ができます）。

履修申請は、進級や卒業に影響する最も重要な手続きです。一年間の学習計画を怠ったり、誤った申請をすると、たとえ授業や試験を受けても単位が認められません。

注意点

- ①学部・学科・入学年度により、卒業要件（修得すべき科目や単位数）が異なりますので、ハンドブックをよく読んで理解してください。
- ②履修科目を選ぶため、事前に「Webシラバス（授業計画書）」をよく読んで、卒業要件を満たしつつ、学びたい科目を選択します。
- ③履修申請する前に、学籍番号などによって指定されているクラス等のクラスをポータルシステム、配付資料や講義時間割で確認します。
- ④Web履修申請ガイドブックに基づき、自分が受けたい授業科目を曜日・時限ごとに、Web上（パソコン）から申請してください。
- ⑤同じ学部・学科またはコースでも、学生1人1人の選択すべき科目が異なります。
- ⑥各ガイダンスへは必ず出席してください。
- ⑦既に単位認定を受けた科目を再度履修することはできません。

(3) 授業

①学期

各学年は前期と後期の2期に分かれています。国際学部、スポーツ健康学部は各年度を2つのセメスターに区分し、第1セメスターから第8セメスターまであります。

- 1) 前期……4月1日～9月20日（奇数セメスターに相当します）
- 2) 後期……9月21日～3月31日（偶数セメスターに相当します）

②授業時間

時 限	授 業 時 間
1 時限	9 : 00～10 : 30
2 時限	10 : 40～12 : 10
3 時限	12 : 50～14 : 20
4 時限	14 : 30～16 : 00
5 時限	16 : 10～17 : 40
6 時限	17 : 50～19 : 20

※定期試験中は時間（次ページ参照）が変わりますので注意してください。

(4) 休 講

①担当教員の都合による休講

担当教員の都合により授業ができない場合は、ポータルシステムで案内します。ポータルシステムへメール配信設定をすると、個人に連絡が届くようになります。

②気象警報および交通機関運行停止による休講

1. 気象警報、土砂災害警戒情報による休講

基準時刻において次の 1)～2) のいずれかに当てはまる場合は休講となり、授業や試験は行いません。警報が解除された場合は、次のとおり授業や試験を行います。

- 1) 大阪府下のいずれかの地域または兵庫県（阪神地域）に「暴風警報」、「暴風雪警報」、「特別警報（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）」が発令されたとき。
- 2) 大東市に土砂災害警戒情報レベル4以上が発令されたとき。

基準時刻	対象の警報等が…	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限	7 時限
午前6時30分	解除された	授業実施	授業実施	授業実施	授業実施	授業実施	授業実施	授業実施
	発令中	休講	休講	午前10時判断			午後3時判断	
午前10時	解除された	午前6時30分判断	授業実施	授業実施	授業実施	授業実施	授業実施	授業実施
	発令中	午前6時30分判断	休講	休講	休講	午後3時判断		
午後3時	解除された	午前6時30分判断	午前10時判断			授業実施	授業実施	
	発令中	午前6時30分判断	午前10時判断			休講	休講	

※1)、2) の警報が授業や試験中に発令された場合、授業や試験を中止して休講とすることがあります。

2. 交通機関の運行停止による休講

基準時刻において次の 3)～4) のいずれかに当てはまる場合は休講となり、授業や試験は行いません。交通機関が運行を再開した場合は、次のとおり授業や試験を行います。

- 3) 西日本旅客鉄道（JR西日本）「片町線」（学研都市線／京橋～松井山手間）の一部または全部が発令から継続して運行を停止しているとき。
- 4) 大阪市高速電気軌道（Osaka Metro）「中央線」・近畿日本鉄道「けいはんな線」（本町～生駒間）および近畿日本鉄道「奈良線」の2交通機関が同時に発令から継続して運行を停止しているとき。

基準時刻	対象の交通機関が…	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限	6 時限	7 時限
午前6時30分	運行を再開	授業実施	授業実施	授業実施	授業実施	授業実施	授業実施	授業実施
	発令から継続して運行を停止	休講	休講	午前10時判断			午後3時判断	
午前10時	運行を再開	休講	休講	授業実施	授業実施	授業実施	授業実施	授業実施
	発令から継続して運行を停止	休講	休講	休講	休講	休講	午後3時判断	
午後3時	運行を再開	休講	休講	休講	休講	休講	授業実施	授業実施
	発令から継続して運行を停止	休講	休講	休講	休講	休講	休講	休講

3. その他の事態による休講

特別の事態が発生するおそれがあるとき、または授業や試験中に発生したとき、授業や試験を中止して休講とすることがあります。

(5) 補 講

授業が休講となった場合は、別途補講を実施します。なお、補講の案内方法は休講案内と同様です。休講した科目は6時限目の時間帯を利用して補講を実施します。

■試験・成績

(1) 定期試験

授業科目の学修の成果を評価し、単位を認定するために試験が行われます。

授業（科目）によっては定期試験期間以外に試験を実施する場合があります。授業期間内に試験が行われたり、レポートを提出しなければならない授業もありますので、常にポータルシステムや掲示等に注意してください。また、授業中に課題を与えられる場合などは掲示をしない場合もありますので、気をつけてください。日頃の出席状況、受講態度なども評価の基礎資料になります。さらに、単位認定にあたり、出席を前提としている学科（科目）もありますので注意してください。

①試験期間と試験時間

—試験期間—

種 類	内 容	実 施 日
前 期 試 験	前期終了科目・※通年科目(中間試験)	2024年7月30日～8月5日
後期・学年末試験	後期終了科目・通年科目	2025年1月21日～1月29日

※通年科目の前期試験は中間試験として行います。

—試験時間—

時 限	試 験 時 間
1時限	9：20～10：40
2時限	11：00～12：20
3時限	13：00～14：20
4時限	14：40～16：00
5時限	16：20～17：40
6時限	18：00～19：20

②定期試験を受けるためには

- ・履修登録が必要です（履修登録をした科目以外の試験を受けることはできません）。
- ・授業料（等）を納入していなければなりません。

(2) 追試験

追試験は、病気等で定期試験を受けることができなかった者が、以下のイ)～ホ)に該当する場合に申し込むことができます。通年科目の中間試験に追試験はありません。追試験の成績は90点満点です。試験時間、試験場での注意、不正行為者の処分等については、定期試験と同様に扱われます。

イ) 傷病等による公的な診断書（※1）がある者。

※1 受診日以外に欠席を要する場合は、その欠席期間も安静を要することが判らなければ、原則として追試験の受験は認められません。

ロ) 採否に係る就職活動に関する証明（※2）がある者。

※2 以下の手順に従ってください。

①「就職活動証明書」を事前にキャリアセンターで受け取り、必要事項を記入の上、

- キャリアセンターで受付（大学受付）印をもらう。
- ②訪問企業で確認印等をもらう。
 - ③原則として、担当教員から確認の押印をもらう。
 - ④キャリアセンターで受付（大学提出）印をもらう。
 - ⑤教務課に提出。
- ハ）クラブ活動における関西大会以上の公式試合、並びに大会に参加するため予め許可を得た者。（大会期間＋往復日数）
- ニ）各時限において、交通機関の遅延により受験できなかった者で、30分以上の遅延が証明できる（Web遅延証明書、または公の証明書に発生年月日、時間帯が明記され、代表者の印のあるものに限る。）場合、発生した当日に教務課窓口申し出て、申請事項と相違ないと認められた者。
- ホ）試験期間および期間外に次の事項で特別に休んだ場合、保護者および他の証明書がある者。
- ・父母、配偶者（それに準ずる者を含む）または子が死亡した時（7日＋往復日数）
 - ・祖父母または兄弟姉妹が死亡した時（2日＋往復日数）
 - ・上記の親族における1周忌までの法要を行う時、または上記以外の親族が死亡した時（1日＋往復日数）
 - ・交通事故で被害者の場合は、事故が発生したその日から追試験を受験できる日まで。
- ※その他特別な理由がある者は、別に審議します。

—追試験日程—

	受付期間	受験料	可否発表日	実施日
前期	2024年7月31日～8月6日	1,000円／1科目	8月20日	8月21日～8月23日
後期	2025年1月22日～1月30日		2月4日	2月5日～2月7日

申し込み方法：追試験を受験するためには、「追試験受験願」に必要事項を記入し、決められた申し込み期間内に受験料(1,000円／1科目)を添えて申し込んでください。追試験受験可否については、教授会において審議し決定します。その結果は、ポータルシステムからお知らせ配信で発表します。メール通知設定の登録を必ずしてください。ただし、交通機関の延着および裁判員としての職務従事のために定期試験を受験できない場合は、受験料は必要ありません。

(3) 成績

①単位認定

正しく履修申請された科目について、所定の試験を受けた結果、成績が「S」、「A」、「B」、「C」に評価された場合に単位が認定されます。

評価	S (秀)	A (優)	B (良)	C (可)	D (不可)	T (認定)	*	@
適用 (点)	100点～90点以上	90点未満～80点以上	80点未満～70点以上	70点未満～60点以上	60点未満	※1参照	成績評価に至らない ※2参照	履修中
単位	認定				不認定	認定	不認定	—

※1) 入学前および入学後における他の大学、短期大学で修得した単位について、教授会で認められた場合は60単位を超えない範囲で本学での単位として認定されます。

※2) 「Web シラバス」に明示された各科目の成績評価基準に基づき、成績評価に至らない場合は* (アスタリスク) となります。

③成績発表

- ・成績評価に疑問がある場合は、成績発表日以降の所定期間内であれば問い合わせをすることができます。
- ・成績表は、翌年度の履修方針の参考になりますので、各自で大切に保管してください。
- ・履修申請確定後、必ず「履修登録確認表」で登録した科目の確認が必要です。登録された科目以外は、単位を修得することができません。なお、履修登録確認表はポータルシステムで入手・印刷できます。または、パピルスメイト（証明書自動発行機）でも年2回までは無料で発行することができます。
- ・成績表は、ポータルシステムを通じて Web 上で行います。日程は下記のとおりです。また、パピルスメイトでも成績表を受け取ることができます（年間2枚まで）。
- ・保護者の方は「保護者ポータル」で成績表を確認できます。

※9～10 ページに記載の保護者ポータル（URL）<http://wr19.osaka-sandai.ac.jp/cnt/pp29/pp29top.html> 又はQRコードにアクセスして学生の成績を調べることができます。

	対象学生	発表日
前期 ※	在学生（9月卒業予定者除く）	9月11日
後期・学年末	在学生（卒業予定者を除く）	3月11日<予定>

※通年科目の中間試験・前期集中科目については、前期成績発表はありません。

(4) GPA制度について

本学では、学生の皆さんの学習意欲向上と、教職員による適切な修学指導支援のため、GPA (Grade Point Average) 制度を設けています。

GPA の値が著しく悪化した場合には、学科教員から修学指導を受けることとなり、また場合によっては退学勧告を受けることもあります。

ただし、GPA 制度はあくまでも学生の皆さんの学習意欲向上を目的としているため、むやみに退学勧告を行うことはありません。

各学科教員の面談・修学指導により、以後の学習改善に向けた意欲が確認できれば 引き続き修学することが可能です。

一方で、「面談の呼び出しに応じない」「面談したが学習改善に向けた意欲が見られない」といった場合は、退学勧告の対象となることがありますので注意してください。

GPA とはアメリカなどの大学で多く使用される成績の評価方法で、S・A・B・C・D といった成績評価を GP (Grade Point) と呼ばれる数値に置き換え、それにそれぞれの取得単位数を乗じたものを履修申請単位数で除して算出される1単位あたりの平均値です。仮に、単位を取得することができた科目の成績が良くても、一方で不合格となった科目の数も多ければ GPA は高くなりません。

したがって、GPA を高い水準に保つためには、履修登録した科目をひとつひとつ丁寧に学習し、それぞれ高い評価で合格することが必要となります。

■進級・卒業

卒業の条件は、(1)4年以上在学する(休学期間を除く)こと。(2)学科ごとに定められている単位修得条件を満たしつつ、卒業に必要な単位124単位を修得することです。

なお、学科ごとの卒業要件単位数は12ページ以降の表をご覧ください。

大学においては、一般的には1年間に40単位(前後)ずつ、計画的に単位を修得して4年生の春時点で、学科ごとに定められた卒業要件単位数のうち、116~120単位または124単位を修得し、残りの単位(科目)が卒業論文指導のゼミもしくは卒業研究だけにしておくと、卒業論文や研究をまとめる時間が十分に確保されるとともに、就職活動を行う上でもたいへん有利です。

(1) 1年間に履修申請できる単位数(学部・学科により教職科目の一部を除く)

学 部	単 位 数
国際学部	1セム~8セム(1~4年)各24単位 年間48単位
スポーツ健康学部	
経営学部	年間48単位
経済学部	
デザイン工学部	
工学部	

(注:各学年(年間)を学部により、前期と後期またはセメスターとして区分しています。)

(2) 進級の条件

①4月1日から3月31日まで、1年度間を通して「在学」する必要があります。

なお、国際学部、スポーツ健康学部においては、休学期間の有無にかかわらず、第8セメスターまで進むことができますが、単位修得状況(条件)に応じて履修できない科目があります。

②学科によっては、上級年次に設定されている必修科目を履修する場合に、現に在籍している年次の特定の科目の合格を条件としています。

③4年次に必修の卒業論文指導のゼミもしくは卒業研究が設定されている学科は、3年次までに指定された科目を合格すること、および指定された単位数を修得していることが条件となっています。

このような学科は、4年生になるまでに即ち2年生、3年生の段階で卒業延期が確定する場合があります。従って計画的な単位修得(履修)を行うことが求められます。

詳しい情報は、入学式当日に配付したハンドブックに記載していますので、よく読んで分からないところは、教務課窓口で相談されることをお勧めします。

(3) 卒業要件単位数

国際学部

国際学科

総合教育科目	教養教育科目	学際領域	2 単位（「国際学概論」は必修）	24 単位以上	学士（国際学）
		人文科学	4 単位（留学生に限る）		
		社会科学			
		自然科学			
		日本文化			
		人間教育			
		身体科学			
	言語文化科目	英語			
		中国語			
		ドイツ語			
フランス語					
朝鮮語					
	日本語	8 単位（留学生に限る）			
専門教育科目	国際学部 共通科目	国際理解	70 単位以上 （自由科目 8 単位を含む）		
		言語文化			
		現代の社会と文化			
		人間の心理			
	専門演習 科目	英語分野		専門演習科目と研究科目の同一分野から 22 単位以上選択必修	
		日本語分野			
		中国語分野			
		国際・地域研究分野			
	研究科目	英語分野			
		日本語分野			
中国語分野					
国際・地域研究分野					
	卒業プロジェクト	8 単位以上 「ゼミナール 3」 「ゼミナール 4」は必修			
	実践教育科目	6 単位以上			
4 年以上在学					

スポーツ健康学部

スポーツ健康学科

総合教育科目	教養教育 科目	人文科学	4 単位 (留学生に限る)	6 単位以上	20 単位 以上	124 単 位	学士 (体育学)
		社会科学					
		自然科学					
		学際領域					
		日本文化					
	人間教育						
言語文化 科目	英語	4 単位以上	8 科目 8 単位以上、母語履修不可 (留学生に限る)				
	初修外国語						
	日本語						
専門教育科目	身体教育学コース		29 単位以上 14 単位以上 20 単位以上 4 単位以上	67 単位以上 (自由科目 8 単位を含む)			
	専門基礎科目						
	専門応用共通科目						
	専門応用コース科目						
	専門研究						
	スポーツ科学コース		28 単位以上 14 単位以上 20 単位以上 4 単位以上	66 単位以上 (自由科目 8 単位を含む)			
	専門基礎科目						
	専門応用共通科目						
	専門応用コース科目						
専門研究							
地域・健康科学コース		29 単位以上 14 単位以上 20 単位以上 4 単位以上	67 単位以上 (自由科目 8 単位を含む)				
専門基礎科目							
専門応用共通科目							
専門応用コース科目							
専門研究							
育 実 科 践 目 教	リテラシ科目	4 単位以上					
	学部科目						
	キャリア科目						
4 年以上在学							

経営学部

経営学科

総合教育 科 目	教養教育科目	人 文 科 学	4 単 位 (留 学 生 の み)	20 単 位 以 上	124 単 位	学 士 (經 営 学)
		社 会 科 学				
		自 然 科 学				
		学 際 領 域				
		日 本 文 化				
	人 間 教 育					
	言語文化科目	英 語	6 単 位 以 上			
初 修 外 国 語						
日 本 語		8 単 位 (留 学 生 の み)				
身 体 科 学 科 目						
専門教育 科 目	經 営 学 コ ー ス	必 修 4 単 位、選 択 必 修 4 単 位、 選 択 76 単 位 以 上	84 単 位 以 上 (自 由 科 目 12 単 位 を 含 む)			
	会 計 ス ペ シ ャ リ ス ト コ ー ス	必 修 14 単 位、選 択 必 修 10 単 位、 選 択 60 単 位 以 上				
	フ ァ ッ シ ョ ン ビ ジ ネ ス コ ー ス	必 修 8 単 位、選 択 76 単 位 以 上				
4 年 以 上 在 学						

※英語、初修外国語は留学生も履修出来ませんが母語の履修はできません

※会計スペシャリストコースは23年度入学生以降のみになります

商学科

総合教育 科 目	教養教育科目	リ テ ラ シ	4 単 位 (留 学 生 の み)	20 単 位 以 上	124 単 位	学 士 (經 営 学)
		人 文 科 学				
		社 会 科 学				
		自 然 科 学				
		学 際 領 域				
	日 本 文 化					
	人 間 教 育					
言語文化科目	英 語	6 単 位 以 上				
	初 修 外 国 語					
	日 本 語		8 単 位 (留 学 生 の み)			
身 体 科 学 科 目						
専門教育 科 目	商 学 コ ー ス	選 択 必 修 14 単 位、選 択 74 単 位 以 上 (自 由 科 目 12 単 位 を 含 む)	88 単 位 以 上			
	ス ポ ー ツ	選 択 必 修 34~50 単 位、選 択 38~54 単 位 以 上				
	キ ャ リ ア コ ー ス	(自 由 科 目 12 単 位 を 含 む)				
4 年 以 上 在 学						

※英語、初修外国語は留学生も履修出来ませんが母語の履修はできません

経済学部

- ・履修する演習の教員が所属する学科により、3年次より経済学科および国際経済学科への学科配属が決定されます。
- ・経済学部には、別に定める基準にしたがって、優秀な成績をもって修得したと認められた者は、3年間の在学で卒業できる制度があります。

総合教育 科 目	教養教育科目	人 文 科 学	(留学生に限る)	20 単位以上	124 単位	学 士 (経 済 学)
		社 会 科 学				
		自 然 科 学				
		学 際 領 域				
		日 本 文 化				
	人 間 教 育					
	キャリア教育関連科目	2 単位以上				
言語文化科目		英 語	} 6 単位以上 (留学生に限る)(留学生は8 単位以上)			
		初修外国語				
		日 本 語				
	身 体 科 学 科 目					
専門教育 科 目	必修、選択必修、選択科目の単位を合わせて、 80 単位以上 (自由科目 10 単位を含む)					
4 年 以 上 在 学						

デザイン工学部

情報システム学科

フィールド 教育科目	フィールドプラクティス		2 単位	10 単位 以上	124 単位	学 士 (工 学)
	フィールド関連教養科目		要件なし			
総合教育 科 目	教養教育 科 目	人 文 科 学	要件なし	20 単 位 以 上		
		社 会 科 学	要件なし			
		自 然 科 学	要件なし			
		学 際 領 域	要件なし			
		日 本 文 化	(留学生に限る) 8 単位			
	人 間 教 育	要件なし				
	言語文化 科 目		英 語	(留学生を除く) 4 単位以上		
初修外国語			要件なし			
日 本 語			(留学生に限る) 8 単位			
	身 体 科 学 科 目	要件なし				
専 門 教 育 科 目		必修、選択必修および選択科目の単位を合わせ て、94 単位以上 (自由科目 4 単位を含む)				
4 年 以 上 在 学						

建築・環境デザイン学科

フィールド 教育科目	フィールドプラクティス		2 単位	10 単位 以上		
	フィールド関連教養科目		要件なし			
総合教育 科目	教養教育 科目	人文学	要件なし	20 単位 以上	124 単位	学士（工学）
		社会科学	要件なし			
		自然科学	要件なし			
		学際領域	要件なし			
		日本文化	(留学生に限る) 8 単位			
		人間教育	要件なし			
	言語文化 科目	英語	(留学生を除く) 4 単位以上			
		初修外国語	要件なし			
		日本語	(留学生に限る) 8 単位			
	身体科学科目		要件なし			
専門教育科目			必修、選択必修および選択科目の単位を合わせて、94 単位以上 (自由科目 8 単位を含む)			
4 年 以 上 在 学						

環境理工学科

フィールド 教育科目	フィールドプラクティス		2 単位	12 単位 以上		
	フィールド関連教養科目		要件なし			
総合教育 科目	教養教育 科目	人文学	要件なし	20 単位 以上	124 単位	学士（理工学）
		社会科学	要件なし			
		自然科学	要件なし			
		学際領域	要件なし			
		日本文化	(留学生に限る) 4 単位			
		人間教育	要件なし			
	言語文化 科目	英語	(留学生を除く) 4 単位以上			
		初修外国語	要件なし			
		日本語	(留学生に限る) 8 単位			
	身体科学科目		要件なし			
専門教育科目			必修、選択の単位を合わせて、82 単位以上 (自由科目 8 単位を含む)			
実践教育科目			6 単位以上			
4 年 以 上 在 学						

工学部

機械工学科

実践教育科目		8単位以上		20 単位 以上	124 単位	学 士 （ 工 学 ）
総合教育 科 目	教養教育 科 目	教養入門ゼミ	要件なし			
		人文学	要件なし			
		社会科学	要件なし			
		自然科学	要件なし			
		学際領域	要件なし			
	日本文化	(留学生に限る) 8 単位				
	言語文化 科 目	英語	4 単位以上			
初修外国語		(留学生に限る) 8 単位				
日本語						
身体科学科目	要件なし					
専門教育科目		必修および選択科目の単位を合わせて、88 単位以上 (自由科目 4 単位を含む)				
4 年 以 上 在 学						

交通機械工学科

実践教育科目		6単位以上		20 単位 以上	124 単位	学 士 （ 工 学 ）
総合教育 科 目	教養教育 科 目	教養入門ゼミ	要件なし			
		人文学	要件なし			
		社会科学	要件なし			
		自然科学	要件なし			
		学際領域	要件なし			
	(日本事情1・2) (日本の社会と文化1・2)	(留学生に限る) 8 単位				
	言語文化 科 目	英語	4 単位以上			
初修外国語		(留学生に限る) 8 単位				
日本語						
身体科学科目	要件なし					
専門教育科目		必修および選択科目の単位を合わせて、90 単位以上 (自由科目 4 単位を含む)				
4 年 以 上 在 学						

都市創造工学科

実践教育科目			6単位以上		124単位	学士（工学）		
総合教育 科目	教養教育 科目	人文科学	} 12単位以上 (留学生は 10単位以上)	20 単位 以上 (留学生 は22単 位以上)				
		社会科学						
		自然科学						
		学際領域						
		(日本事情1・2) (日本社会と文化1・2)			(留学生に限る)8単位			
	言語文化 科目	英語	4単位以上		} 8単位以上 (留学生は 12単位以上)			
		初修外国語	1言語を選択して1単位以上					
日本語		(留学生に限る)8単位						
身体科学科目	要件なし							
専門教育科目			必修、選択必修および選択科目の単位を合わせて、90単位以上					
4年以上在学								

電気電子情報工学科

実践教育科目			8単位以上		124単位	学士（工学）		
総合教育 科目	教養教育 科目	教養入門ゼミ	要件なし				20 単位 以上	
		人文科学	要件なし					
		社会科学	要件なし					
		自然科学	要件なし					
		学際領域	要件なし					
		人間教育	要件なし					
		日本文化	(留学生に限る) 8単位					
	言語文化 科目	英語	4単位以上	} 8単位以上				
		初修外国語	(留学生に限る)8単位					
日本語								
身体科学科目	要件なし							
専門教育科目			必修および選択科目の単位を合わせて、88単位以上（自由科目4単位を含む。）					
4年以上在学								

■授業料(等)の納入(期限)と学籍

授業料(等)の納入と学籍は密接に関係しています。授業料(等)を期限内に納入しないと除籍になります。ただし納入期限内所定の手続きをすることにより、納入期限を延期(延納)することができます。また、休学・退学の手続きも、授業料納入期限までに行うことで、当該学期の授業料(等)は徴収いたしません。(休学時の在籍料は必要です。)

除籍になると履修申請は無効となり、仮に試験を受けて結果が良くても単位は認定されません。

授業料(等)は、前期と後期に分けて「授業料等振込依頼書」より、銀行窓口で納入してください。

(1) 授業料(等)の納入と学籍に係わる日程(〔 〕内は後期日程)

前期：3月上旬 授業料等振込依頼書が保護者宅に郵送されます。

〔後期：9月上旬〕 (郵送されない場合には、経理課へ問い合わせてください。)

前期：4月20日 授業料(等)納入期限・「授業料(等)延納願」届出期限

〔後期：10月15日〕 特別な事情により、期限内に授業料(等)の納入ができないときは、「授業料(等)延納願」を前期：4月20日〔後期：10月15日〕までに教務課に提出してください。「授業料(等)延納願」の提出により、前期：6月20日〔後期：12月15日〕までの2ヵ月間授業料(等)の納入を延期することができます。

前期：4月下旬 授業料(等)の未納者および授業料(等)延納願の未提出者に「除籍通知書」を郵送します(保護者宅・学生宅)。

〔後期：10月下旬〕 除籍を取消したいときは、前期：5月20日〔後期：11月15日〕までに『除籍取消願』を教務課に提出してください。ただし、授業料(等)の納入に際しては、手数料として5,000円が加算されます。

なお、『除籍取消願』を提出した者で、授業料(等)(除籍取消手数料を含む)を前期：5月20日〔後期：11月15日〕までに納入できないときは、更に、『授業料(等)納入猶予願』の提出により、前期：6月20日〔後期：12月15日〕まで納入を延期することができます。

前期：6月20日 授業料(等)延納願者と授業料(等)納入猶予願者の納入期限

〔後期：12月15日〕 授業料(等)(納入猶予願者は除籍取消手数料を含む)を期日までに納入しなければ除籍となります。

ただし、特別な事情により、前期：6月20日〔後期：12月15日〕までに納入できないときは、納入期限までに『授業料(等)納入および除籍猶予願』を教務課に提出することで、7月20日〔1月15日〕まで除籍(納入)を延期することができます。その際には、新たに2,000円の手数料が加算されます。

前期：7月20日 授業料(等)納入最終期限(『授業料(等)納入および除籍猶予願』提出者に
〔後期：1月15日〕 限ります。)期限に応じた書類の提出により、最長3ヵ月間納入を延期できます。

—注意—

各手続き期限日が休日の場合には、翌窓口業務日(営業日)を期限とします。

授業料(等)未納による除籍が確定した後は、規程に基づく「再入学」の方法でしか、大学に戻ることができません。

(2) 休学・退学の手続

- ・休学、退学の願い出は、各学期の授業料（等）納入期限までに届け出てください。
 - ・提出期限（各学期の授業料（等）納入期限）を過ぎると授業料の納入が必要になります。
 - ・休学願い出時には、在籍料（半期：60,000円・通年120,000円）が必要です。
 - ・休学期間は、半期（前期・後期）または通年（1年間）を選択することができます。
 - ・休学期間満了後は、その翌日に「復学」したものととして取り扱います。
 - ・学期の途中で休学の理由が消滅し（病気治癒等）で復学する場合には、各学期の初めから3ヶ月未満であれば「復学願」の届出により、休学願を取り消したものととして取り扱います。
- ※①学期の途中で復学（休学願の取り消し）した者には、その学期の授業料（等）を全額徴収します。なお、復学（休学願の取り消し）した学期（期間）の在籍料は返金します。
- ②学科によっては半期の休学でも卒業が1年遅れる場合がありますので注意してください。詳しくは教務課で確認または相談してください。
- ③休学する前の単位修得状況や在学期間により、復学後の年次（セメスター）や履修できる科目、卒業に必要な在学期間が異なるので、事前に教務課で充分相談してください。

(3) 住所変更・氏名変更届

大学に登録している情報に変更が生じた場合は速やかに以下の方法で届け出てください。

【ポータルシステムより学生自身で変更できる情報】

- ・学生住所
- ・学生携帯電話番号・自宅の電話番号
- ・保証人（保護者等）住所
- ・保証人（保護者等）携帯電話番号・自宅の電話番号
- ・授業料（等）納付書の送付先の変更

【教務課窓口に届け出が必要な情報】

- ・学生氏名（英字氏名含む）の変更
 - ・保証人（保護者等）の変更
 - ・保証人（保護者等）氏名の変更
- ※変更には変更者の住民票（または戸籍謄本）が必要です。
- ・緊急連絡先に関すること

■ 転科・学部変更試験

他の学科へ変わりたいと希望する場合、その機会を得られるのが転科または学部変更試験という制度です。（以下「転籍等」といいます。）

これには、一定の手続を経たのち、試験に合格することが条件となります。

(1) 転籍等の条件

志望する学部の学科に欠員があるとき、1年次に在学する者に限り出願の資格が与えられます。ただし、2年次以上に在学する者であっても、改めて2年次への転籍等を願い出る場合はこの限りではありません。詳しくは、大学 Web サイト「キャンパスライフ」の教務課（履修・成績等）に掲載の学生便覧「学則第17条」「学部通則第6条」等の規程（入学年度版）を確認してください。

(2) 転籍等の試験実施日程

願書配布開始日……………2025年1月14日(火)

出願期間……………2025年1月14日(火)～2025年1月17日(金)

受験手数料……………15,000円

試験日時……………2025年2月15日(土)

合格発表……………2025年3月6日(木)

※注意事項……………休学者・卒業予定者は出願できません。

詳しくは教務課までお問い合わせください。

選考方法（大阪産業大学学部通則より抜粋）

転籍等の試験は、下記学科試験及び面接試験です。ただし、学科試験は省略される可能性があります。詳しくは当該年度の「転科・学部変更試験要項」をご確認ください。

学部	学 科	学 科 試 験
学 国 部 際	国際学科	「小論文」
健 ス 康 ポ 学 ー 部 ツ	スポーツ健康学科	「小論文」および「体育実技」
経 営 学 部	経営学科	「小論文」および「外国語（英語）」
	商学科	「小論文」および「外国語（英語）」
経済学部		「小論文」と「外国語（英語）」または「数学」
工 デ 学 ザ 部 イ ン	情報システム学科	「数学」および「外国語（英語）」
	建築・環境デザイン学科	「小論文」および「外国語（英語）」
	環境理工学科	「小論文」および「外国語（英語）」
工 学 部	機械工学科	「数学」および「外国語（英語）」
	交通機械工学科	「数学」および「外国語（英語）」
	都市創造工学科	学習計画書の提出
	電気電子情報工学科	「数学」および「外国語（英語）」

学生生活関係

■ 窓口時間

曜日	学生生活課 11号館〈本館〉1階	学生相談室/コミュニケーションラウンジ 12号館5階/ランゲージカフェ2階	保健管理センター 16号館1階
月～金	9:00～17:00	9:00～17:00	9:00～19:30 9:00～18:00 (後期試験終了後から3月末まで)
土	9:00～12:30	—	9:00～18:00 9:00～15:00 (後期試験終了後から3月末まで)

※ 学生の長期休暇期間中は窓口時間を変更する場合があります。

※ 保健管理センターは、大学行事日程により、土・日・祝日の開室時間を変更する場合があります。

■ 主な取り扱い業務

《学生生活課》

- ① 学生生活（一般的な案内・相談含む）および課外活動に関すること。
- ② 施設・備品の貸し出しに関すること。
- ③ 学生の事故等、緊急時の対応に関すること。
- ④ 学生のハラスメント相談に関すること（ハラスメント相談窓口）。
- ⑤ 学生向けの行事の開催および学生行事の指導・助言に関すること。
- ⑥ 各種奨学金、短期貸付金に関すること。
- ⑦ 学生健康保険互助組合に関すること。
- ⑧ 学生教育研究災害傷害保険に関すること。
- ⑨ 遺失物・拾得物に関すること。

《学生相談室/コミュニケーションラウンジ》

- ① 全学生に対して学生生活全般における問題や悩みについて相談・対応。
- ② 学生生活の向上に繋がるコミュニケーションスキルのトレーニング等の実施。

《保健管理センター》

学生の健康保持増進を目的とし、定期健康診断、健康相談および保健指導、学内での応急処置、健康診断書発行等を対応しています。

I. 豊かな学生生活のために

課外活動のすすめ

本学では、課外活動を奨励しています。学生自治会には体育会クラブ・文化会クラブと独立団体（大学祭実行委員会、赤十字ボランティア、学生健康保険委員会）があり、誰でも加入できます。また、他に同好会・同志会や多くのサークルがあります。クラブ・サークル活動は、学生自主活動の支柱であって、その文化・スポーツ・学術等の多方面にわたる活動は、正課授業と並ぶ重要な教育活動の一つです。学部・回生の違いを越えて、共通の目的のもとに集う学生が、自主的に活動していくことは、何にもかえがたい貴重な体験となっています。また、課外活動をやり遂げたという自信は、社会への旅立ちを大いに助長してくれることにもなります。

是非、クラブ・サークルへの加入を保護者の方々からもお勧めください。

学生生活に関するガイドブックについて

学生生活課では、新入生が学生生活を送るにあたって、具体的な指針となるように「CAMPUS LIFE GUIDE 2024」を作成し、大学公式 Web サイトに掲載しています。どなたでもご覧いただけますので、是非、保護者の方々もご確認ください。

学生相談について

青年期という人生の過渡期にいる学生は、大学受験という強いストレスから解放されるとともに、慣れないキャンパスに投げ出されたことによって起こる、いわゆる「五月病」から始まって、さまざまな心の問題が発生しがちです。このため学内には学生相談室（12号館5階）が置かれ、常時、専門のカウンセラーが相談に応じております。

その他、日常的な学生生活に関する相談は、学生生活課で行っております。いずれも秘密は厳守されますので安心してご利用ください。

なお、学生の心の問題は、親子関係のゆがみや両親の不和など家庭内の人間関係に起因する場合がございます。保護者の言葉や行いがそれと気づかずに子供の心を傷つけてしまうこともあります。

しかし、だからと言って決して保護者だけに問題があるというのではなく、多世代に渡っての問題や社会の歪みをその学生が代表者として担っていると考えられます。

従って、問題を解決するためには、親子関係という二者や三者間だけを捉えるのではなく、世代を越えて受け継がれた家族の在り方の問題として捉える必要があります。

そのためには、時には、保護者にお会いして、ご協力をいただかなければならない場合もありますので、この点については、特にご理解とご協力をお願い申し上げます。

保健管理について

学生の皆様が心身共に安心して学生生活を送る事ができるように保健管理センターがあります。学内で怪我や体調不良などがあれば、応急処置や健康相談の上、近隣の医療機関の情報提供をすることができます（診察はしていません）。

また毎年4月に定期健康診断を実施しています。学校保健安全法により全学生の受診が義務づけられています。在学中の健康管理の把握は勿論の事、本学の健康診断受診者のみ就職活動などの健康診断書発行も可能です。修学上の義務ですので、必ず受診されるようご指導をお願い致します。

Ⅱ. 学生への注意事項

違法・迷惑駐車学生の懲戒処分について

●本学は自動車（四輪）通学禁止

本学では、学生の大学への自動車通学を「全面禁止」（昭和48年10月）にしています。

こうした学生の『自動車通学禁止』の措置は、以下の理由によるものです。

- ・本学には学生の自動車通学者用の駐車場を設ける余裕のある敷地はなく、入構を禁止していること。また、公共交通機関やシャトルバスの利用による通学が決して不便ではないこと。
- ・地域住民の生活と近隣の商業施設の環境に、違法・迷惑駐車や交通・営業妨害などにより侵害を与え、市民生活と営業活動に重大な支障をきたしていること。それにより、地域住民と近隣商業施設からの大学に対する信頼が失われ、社会的責任が果たせていないこと。
- ・学生の交通事故が多発し、死亡事故につながる事故も発生し、志半ばで将来の夢が絶たれていること。
- ・騒音等により教育や研究の妨げになっていること。

以上「自動車通学全面禁止」の趣旨を理解し、本学の構成員の一人として、地域住民と近隣商業施設に迷惑をかけないという責任と、自分自身を交通事故から守るためにも、「自動車通学は絶対にしない」ことを肝に銘じてください。

●社会秩序の維持と法令遵守の徹底

大学もまた社会の一員であり、当然、学生も社会的責任を負っています。従って、本学の構成員として、社会秩序の維持と法令遵守の徹底に、責任をもって行動する必要があります。

本学では、これらの啓発活動と注意喚起を行っているところではありますが、近年、近隣住民の方々や商業施設から、学生による違法・迷惑駐車之苦情が急増し、キャンパス内への不許可駐車も散見されるため、大学として放置できない状況に至っております。

このため、違法・迷惑駐車、または、悪質なキャンパス内への不許可駐車を行う大学生・大学院生には、学則に従って訓告、停学、および退学等の懲戒処分を科すことにしています。

なお、下記（注）の事情等により、事前に「学生生活課」に『入構許可申請書と根拠資料』を届け出て、学生部が自動車の利用が必要であると判断した場合に限り、自動車通学について許可しています。

（注1）身体障がい者手帳等を保持し自動車以外での通学が困難な場合（手帳等の提示）

（注2）病気・怪我等により自動車以外での通学が困難な場合（医師の診断書等の提出）

（注3）課外活動等で器具・器材の運搬等自動車以外での運搬等が困難な場合（理由書の提出）

（注4）上記以外の事情等において自動車利用が必要と判断した場合（理由書の提出）

●私有地等への迷惑駐車はトラブルの要因

- ・空地（私有地）等への駐車（不法侵入）
- ・月極（賃借）駐車場への契約外駐車（権利侵害）
- ・商業施設等への目的外駐車（営業妨害）
- ・レッカー移動にかかわる費用請求

各ご家庭におかれましては、『自動車通学禁止』の理由をご理解いただき、「自動車通学」をしないようご指導くださいますようお願いいたします。

薬物乱用防止

大学生が大麻の不法栽培や所持・使用などにより逮捕される事件が相次いでおります。大麻などの薬物乱用は、決してカッコいいものではなく、心や体をぼろぼろにし、愛する者全てを不幸にします。たった一度であっても、逮捕という重大な結果が待っていることを十分認識してください。

大麻の取引や吸引の情報があったら、勇気を持って警察署に通報してください。

仲間から誘われても、毅然として「ダメ。ゼッタイ。」と断りましょう。ひとりで悩まずに相談してください。

麻薬・覚せい剤等の規制に関しては麻薬及び向精神薬取締法、大麻取締法、あへん法、覚せい剤取締法があり、麻薬や大麻、覚せい剤等を輸入したり、製造したり、あるいは有償・無償を問わず他人に渡したり、他人から受け取ったり、所持したり、使用したりすると厳しく罰せられます（例えば、単に覚せい剤を所持していた場合—10年以下の懲罰）。

Ⅲ. 福利厚生について

1. 奨学金制度に関すること

奨学金は経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、修学に専念できるような生活基盤の確立を援助する事を目的としています。貸与奨学金は卒業後返還義務があります。給付奨学金も学業成績・生活状況等によっては返還する義務が生じる場合があります。奨学生として採用された場合は、入学時の初心を忘れることなく学業に励んでください。

募集は、下記募集時期前に専用掲示板（本館1階）、および Web サイト（学生生活課）で案内します。

本学で取り扱う奨学金制度は、下記の通りです。

奨学金名	募集対象者	募集時期
日本学生支援機構奨学金 高等教育の修学支援新制度 (給付奨学金+授業料等減免)	全学年	4月初旬/9月下旬
地方公共団体奨学金 民間育英団体奨学金	募集の都度、案内します。	

突発的な事情により家計が急変し、緊急に奨学金が必要となった場合、募集時期にかかわらず、ご相談ください。

2. 短期貸付金に関すること

学生生活費の支弁が緊急に困難になった場合、一時的に所定の金額を貸与（無利子）します。

原則として、5万円までですが、学業継続に困難をきたす特別な事情がある場合は、10万円を限度に貸与することがあります。貸与翌月から毎月1万円の返還が必要となります。

3. 下宿・アルバイトについて

下宿紹介、アルバイト求人情報の提供については、契約業者に委託しております。詳細は大学公式 Web サイトをご参照ください。

4. 学生健康保険互助組合に関すること

学生健康保険互助組合は、主に学生の病気やケガ等に対する医療費の補助を目的とした大阪産業大学独自の互助組合です。組合費は、各年度の前期、後期の授業料納入時に分割して徴収していますので、所定の期限までに必ず納入してください。組合費を納入されない場合は、組合員の資格を失いますのでご注意ください。

組合員は医療を受けた場合において医療費給付（医療費補助限度額は前期・後期各75,000円）を受けることができます。

詳しくは、大学公式 Web サイトをご参照ください。

5. 学生教育研究災害傷害保険に関すること

この保険は、大阪産業大学で学ぶ学生の教育研究活動中の災害の補償を目的とし、授業中や通学中、クラブ活動等の事故に対して補償を行っています。適用条件がありますので、まずは学生生活課へ事故内容を報告してください。

入学時に配布している「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」も併せてご確認ください。

6. 遺失物・拾得物に関すること

学内での拾得物は、学生生活課に届けられたものを、拾得物台帳に記載し保管しております。学籍番号・氏名等持主の判明している物については、必ず電話やメールで連絡するようになっておりますので、私物には必ず学籍番号や氏名を記入して下さい。

その他の拾得物については学生生活課の陳列ケースに保管しておりますので、心当たりのある物があれば申し出てください。

○現金および貴重品は、翌月に四條畷警察署に拾得物として届けます。

○陳列ケース内の拾得物は、3ヶ月を過ぎると廃棄処分になります。

海外研修・留学関係

I. 国際交流課（全学部対象）

本館1階

曜日	開室時間
月～金	9:00～17:00
土	9:00～12:30

海外研修

語学研修

語学教育の一環として夏期休業中に実施する海外研修です。この研修に参加することにより単位の修得も可能です。参加できるのは2年生以上で、語学研修科目を履修登録することが必要です。学部によっては履修できない場合があります。大学院生は対象外です。

1. 英語研修

アメリカ・カナダ・イギリス（オーストラリア）の3つのコースがあります。各々現地語学学校で、約3週間の英語研修を実施し、研修期間中は何れもホームステイ（オーストラリアは学生寮）をして、語学だけでなく現地の生活習慣や文化を体験することができます。参加人数が少ない場合は、コースを統合することもあります。2023年度はオーストラリアで実施しました。

2. ドイツ語研修

現地語学学校において、約3週間のドイツ語研修を実施します。教室での授業のほかに、街散策ツアーやクラスのみんなどの映画鑑賞などの余暇プログラムがあります。期間中はホームステイまたは学生寮に滞在します。2023年度は中止しました。

3. 朝鮮語研修

ソウル近郊にある聖公会大学校において、約2週間の朝鮮語研修を実施します。朝鮮語の授業のほかに、日帰り見学旅行なども含まれており、また、韓国の文化体験もできます。

4. 中国語研修

協定校の上海外国語大学において、約3週間の中国語研修を実施します。午前は授業、午後は自由研修となっており、日帰り見学旅行なども含まれています。研修期間中は上海外国語大学学生寮に滞在します。

5. フランス語研修

協定校のシエル・ド・ストラスブール語学学校において、約2週間のフランス語研修を実施します。宿泊はホームステイで、現地の生活習慣や文化を体験することができます。引率教員とともに周辺地域の観光もする予定です。

研修名		研修地		時期	期間	単位 認定	費用の 補助
語 学 研 修	英語研修	アメリカ	カプラン・インターナ ショナル・カレッジ	8～9月	3週間	有	後援会 および 学会か ら援助 金給付 あり※
		イギリス (オーストラリア)	現地民間語学学校				
		カナダ	現地民間語学学校				
	ドイツ語研修	ドイ ツ	現地民間語学学校	2週間			
	フランス語研修	フ ラ ンス	シエル・ド・ストラ スブール				
	朝鮮語研修	韓 国	聖公会大学校	8月	2週間		
	中国語研修	中 国	上海外国語大学		3週間		

※研修地等は変更することがあります。

※奨学金給付

英語研修と中国語研修には奨学金給付制度があります。応募者のうち奨学金を希望する学生の中から英語研修最大10名、中国語研修最大5名を選抜して、研修費用の一部を奨学金として給付します。応募、選考の基準等詳細については募集要項で案内いたします。

海外留学

派遣留学・語学留学

海外の協定校等への留学制度を実施しており、派遣学生には奨学金給付等の経済支援を行っています。大学院生は対象外です。※2023年度は英語圏派遣留学及び韓国語学留学を再開、派遣しました。

1. 英語圏派遣留学

アメリカ・カナダ・オーストラリアの協定校等で英語を学びながら、ある一定のレベルに達すれば、大学の講義も受講できる制度（オーストラリアは除きます）です。留学中に取得した単位を、本学の単位として認定することも可能です。

2. ドイツ派遣留学

協定校でドイツ語を学びながら、自分のレベルに応じて大学の講義も受講できる制度です。留学中に受講した科目を本学の単位として読み替えることも可能です。

3. 韓国語学留学

韓国語の修得を目的に派遣する制度で、ハンバット大学校（語学堂）にて受講します。海外で生活しながら、集中的に語学を勉強したいという方に適しています。

4. 中国語学留学

中国語の修得を目的に派遣する制度で、長春人文学院の言語生コースを受講します。海外で生活しながら、集中的に語学を勉強したいという方に適しています。

制度	派遣先		募集定員	選考基準	奨学金等
英語圏派遣留学	カナダ	ランガラ大学	若干名	TOEFL 430 点以上 TOEIC 430 点以上 IELTS 4.0 以上 GPA 2.25 以上	派遣先の授業料は不要ですが、大阪産業大学の授業料を納入する必要があります。
	アメリカ	ワッコム・コミュニティ・カレッジ			
	オーストラリア	サン・パシフィック・カレッジ			
ドイツ派遣留学	ドイツ	ヴェルツブルク大学	1名	ドイツ語筆記試験実施 GPA 2.25 以上	
韓国語学留学	韓国	ハンバット大学校	2名	韓国語筆記実施 GPA 2.25 以上	
中国語学留学	中国	長春人文学院	1名	中国語能力試験を参照 GPA 2.25 以上	
	台湾	国立台中科技大学	2名		

派遣期間はいずれも前期から半期又は通年または後期から半期程度です。（実際には4ヶ月～10ヶ月程度）応募方法は、通常夏期休業明けに掲示によりお知らせします。英語圏への留学に際しては、選考基準としてTOEFL（またはTOEFL-ITP試験）、TOEIC（またはTOEIC-IP試験）のスコア等を用います。TOEIC-IP試験は募集時に学内でも実施します。その他に、学業成績、面接等により総合的に審査し選考します。

※派遣先や派遣期間によって異なりますが、長期留学する際はビザ取得（各自）や、預金口座（～150万円程度／1年）残高が必要な場合がありますので、事前に担当する学部や国際交流課に確認して下さい。

※留学先で取得した単位を本学の単位に読み替える際は、各自でシラバスを翻訳し、その他必要書類を整えて教授会等で承認されることが条件です。

春期英語中期留学

オーストラリア・ブリスベンの語学学校（サン・パシフィック・カレッジ）で英語を学びながら、ホームステイや課外アクティビティを通じて、実践的な英語コミュニケーション能力の向上を目指します。留学期間は2月下旬～3月下旬（春休み期間中）の約40日間です。

※このプログラムについての単位認定はありません。

制度	派遣先		募集定員	選考基準	奨学金等
春期英語中期留学	オーストラリア	サン・パシフィック・カレッジ	若干名	GPA 2.25 以上 もしくは TOEIC 430 点以上	奨学金給付

ベトナム交流プログラム

経済的発展により多くの日本企業が進出しているベトナムについて深く学ぶために同国を訪問します。ベトナムの学生との交流等を通じて、地域の経済・政治・文化・習慣・歴史に対する理解を深めます。往復航空運賃は大学が負担します。現地では、日本の経済・社会・文化・歴史等についてプレゼンテーションしていただきます。

実施は、2025年2月～3月（予定）です。訪問都市等は変更となる場合があります。

Ⅱ. 国際学部

海外研修

国際学部海外研修

国際学部学生を対象に、実践的な英語コミュニケーション能力の向上、ホームステイによる現地家庭生活の体験、異文化圏の学生との交流などを目的とした研修を春休み期間に実施します。

※詳細は、国際学部事務室までお問い合わせください。

研修名		研修地		時期	期間	単位認定	費用の助補
国際学部海外研修	春期英語研修	アメリカ	FLSインターナショナル (ロサンゼルス近郊)	2～3月	2～3週間	なし	大学より奨学金 給付あり
		オーストラリア	サン・パシフィック・カレッジ ケアンズ校(ケアンズ近郊ケワ ラビーチ)	2～3月	3週間	なし	
	高大接続 NZ研修	ニュージー ランド	ワイカト・インスティテュー ト・オブ・エデュケーション(オ ークランド近郊ハミルトン)	3月	2～3週間	なし	

海外留学

国際学部派遣留学

国際学部学生を、実践的な外国語コミュニケーション能力の向上、現地社会での生活・文化体験などを目的とした中長期留学（半年～1年）に派遣しています。派遣学生が留学中に取得した単位を、本学の単位として認定することも可能です。選考された派遣学生には、奨学金給付の制度があります。

制度	派遣先		募集定員	選考基準	奨学金等
英語圏派遣留学	アメリカ	ワッコム・コミュニティ・カレッジ (シアトル近郊ベルリンヘム)	若干名	GPA 2.25 以上または TOEIC (L&R) 400 点 以上	大学より奨学金 給付あり
	カナダ	ランガラ大学 (バンクーバー)			
	オーストラリア	サン・パシフィック・カレッジ ケアンズ校(ケアンズ近郊ケワ ラビーチ)			
フランス派遣留学	フランス	シエル・ド・ストラスブール 語学学校	若干名	「フランス語1」 「フランス語2」 を修得した学生	
韓国派遣留学	韓国	聖公会大学校 (ソウル)	若干名	GPA 2.25 以上また はハングル能力検 定試験 5 級以上	
中国派遣留学	中国	上海外国語大学	中国語 コース 学生	HSK3 級 270 点以上	中国国際中文教育 基金会または 大学より奨学金給 付あり

※上記の内容は 2024 年度の予定であり、変更の可能性もあります。

Ⅲ. 経済学部

経済学部海外研修

経済学部の専門教育の一環として実施する海外研修です。アメリカ、ベトナムにおいて現地の経済、政治、文化、歴史、語学などを講義や見学を通じて学びます。

※詳細は、経済学部事務室までお問い合わせ下さい。

研修名		研修地		時期	期間	単位認定	費用の補助
海外 経済 学部 研修	アメリカ研修	アメリカ	シアトル	9月	2週間	有	研修費用の一部を補助
	ベトナム研修	ベトナム	ホーチミン市経済大学	秋季			

※上記の内容は2023年度の予定であり、今後変更の可能性もあります。

就職関係・キャリアセンターについて

■ 場所

- ①中央キャンパス 本館2F
- ②東キャンパス ワーキング・コモンズ内
- ③梅田サテライトキャンパス大阪駅前第三ビル19階

■ 窓口時間

月 曜 日 ～ 金 曜 日	9 : 0 0 ～ 1 7 : 0 0
土 曜 日	9 : 0 0 ～ 1 2 : 3 0

- ※ 東キャンパスキャリアセンターは、月曜～金曜日 9 : 0 0 ～ 1 7 : 0 0のみ
- ※ 夏期にご来学の際は、窓口時間に変更になりますので、ご確認の上、お越してください。
なお、変更が生じましたら事前に別途提示します。

■ キャリアセンター実務担当者（令和6年度）令和6年3月現在

総括責任者 キャリアセンター長 田中 彰 キャリアセンター部長 勝野 友之				
学部	学科	グループ責任者	担当者	キャンパス
国際学部	国際学科	文系グループ 課長 相原 智之	稗田 眞子 課員	中央 キャンパス
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科		木村 哲也 主任	
経営学部	経営学科		和田 瞳 課員	
	商学科		山崎ひとみ 課員	
経済学部	経済学科		田口 主子 主任	
	国際経済学科	岡畑 久 課員		
デザイン工学部	情報システム学科	理系グループ 課長 北村 明彦	谷口安津子 課員	東 キャンパス
	建築・環境デザイン学科		北口 奈緒 課員	
	環境理工学科		龍見明日香 課員	
工学部	機械工学科		岩崎 文子 課長補佐	
	交通機械工学科	北口 奈緒 課員		
	都市創造工学科	龍見明日香 課員		
	電気電子情報工学科※			
窓口／サポート			北川 友熙 課員	
クラブ学生進路相談担当			宮崎 正志 課員	
キャリアカウンセラー			京谷 彰子 課員	中央 キャンパス
			小川 知子 課員	
履歴書・封筒の配付、図書閲覧、PCインターネットの利用が可能 (3～6月は卒業生支援としてカウンセラーを配置)				梅田サテライト キャンパス

- ※2023年度より電子情報通信工学科から名称変更
人事異動等により、担当変えが生じる場合があります。
大学院は基礎となる学部担当者が対応します。

1. 就職に関すること

(1) 就職相談

就職活動を始めるにあたって、「就職活動って何をしたらいいの?」「キャリアセンターってどういうところ?」「何を準備しておけばいいの?」などこれらの質問は当たり前のことと思います。自分だけがわからないのではなく、皆が不安です。その不安を取り除くことに協力するのがキャリアセンターです。

(2) 就職指導（ガイダンス、説明会、セミナーの開催）

①就職ガイダンス

就職全般については、大学の3年次の就職ガイダンスを通じて説明を行います。またガイダンスの一環として履歴書・エントリー対策講座や面接マナー講座を開催します。スケジュールは39ページをご覧ください。

②学内合同（単独）企業説明会・セミナー

「業界研究セミナー」「学内合同企業説明会」「学内単独企業説明会」などを実施しています。企業の人事採用担当者とじっくり話せる場を設けます。

③就職ガイドの掲載

就活対策をすべて網羅した情報を Web ページに掲載します。

(3) 求人先の開拓及び調整

キャリアセンターの担当者が企業の採用担当者と面談し、採用情報を随時調査して、常に生きた情報を提供しています。

また、各企業及び団体に求人登録をお願いし、受け付けた求人票及びその他資料を各企業のファイル及び就職支援システム「求人検索NAVI」（インターネット）で公開しています。

(4) 進路希望登録の受付

キャリアセンターは職業安定法に基づき就職に関する業務を行っています。

就職を希望する方は同法に基づき就職支援システムで「進路希望登録」（内部資料として担当者以外には守秘扱いとします。）をしなければなりません。（進学希望の方も、「進路希望登録」を行って下さい。）登録をしない場合は、就職の斡旋が出来ず、また、企業に対して推薦状を発行することも出来ません。

(5) 推薦状の発行

キャリアセンターでは、学生の推薦依頼があった企業についてはその情報を公開しますので、指導教員に申し出の上、推薦状を発行してもらってください。

なお、推薦人数が設定されている企業の推薦については、キャリアセンターから別途案内をしますので、詳細を確認の上、キャリアセンターで申し込みを行ってください。

また、推薦状は同一時期に1通（不合格の場合は発行可）の発行とし、推薦状を提出した企業から内定を受けた場合は、内定を断ることはできません。

2. キャリアセンターの資料

(1) 企業ファイル、求人票

キャリアセンターでは、企業の情報や求人検索を就職支援システムを用いて行っています。自宅や外出先からの閲覧も可能です。令和6年1月現在、全国各地の企業より約16,700社の求人申し込みをいただいております。

(2) 就職活動体験記

先輩たちが内定先の選考（説明会、筆記試験、面接、その他のスケジュールや内容）がどのような過程であったか、自分の経験をもとに進路就職支援システムに情報入力をしてきています。希望企業の研究と実際の採用試験の参考にして下さい。

(3) 就職関係図書及びビジネス雑誌・新聞

『会社四季報』『日経会社情報』等の企業の規模や業績などの企業情報を調べる書籍、新聞、経済雑誌、業界紙、筆記試験・面接試験対策、業界研究やビジネスマップなども取り揃え、書籍の貸出も行っています。

3. 就職支援システム

インターネット環境があれば、学内外のパソコン・スマートフォンから就職支援システム「求人検索 NAVI」で、以下の機能が利用できます。

- (1) 求人票の検索・閲覧
- (2) 企業説明会やセミナー情報の検索・閲覧
- (3) 面談、行事参加予約
- (4) 企業情報の検索・閲覧
- (5) 進路希望の登録やガイダンスや面談等の予約

就職活動とは

1. 1・2年生からしておくべきこと

1・2年生から将来のキャリアプランについてについてしっかりと考え、大きな夢、自己実現に向かって学生生活を有意義に過ごしてください。

社会に出て働くという選択をするのであれば、その職業についての理解を深める必要があります。

就職活動が始まったときにあわてないよう、基礎学力をつけ、単位をしっかりと取り、目指す資格があるのであれば、計画的に勉強をすすめて試験を受けるようにしましょう。

コミュニケーション能力が高いことや、課外活動・ボランティアなどの経験は自分の強みになります。各学科ではキャリア教育のための授業を計画されていますので、必要な知識を身につけ、目的を持って大学生活を有意義に過ごしてください。

- (1) 授業に出席し、しっかりと単位を取る。
- (2) 学生生活や就職について目標を設定する。
- (3) 「働く」「仕事」について日頃から考える。
- (4) 資格取得に挑戦する。
- (5) 自分の得意分野を発見し、強化する。
- (6) 友人を作り、先生方とも積極的に交流し、コミュニケーション能力をつける。
- (7) 新聞などを読む習慣を身に付け、文章表現能力をつける。
- (8) 問題発見・分析能力、情報収集能力をつける。
- (9) 低学年から参加可能なインターンシップに参加する。

2. 3年生～卒業まで

大学で開催する就職関係開催行事には必ず出席し、準備を進めてください。また、社会人として通用するような挨拶や身だしなみ、立ち居振る舞いなどのマナーを身に付け、言葉遣いは日頃から敬語を使えるよう心掛ける必要があります。就活に必要な情報を分かりやすく解説している情報も Web ページにて掲載します。

3. 自己分析

自己分析にはさまざまな方法がありますが、これまでの人生を振り返りながら「自分が何を大切にしているのか」「自分は何に興味があるのか」「自分は何に向いているのか」といったことを考えていく必要があります。今の自分を客観的にとらえ、自分の強みや考え方をしっかりと意識することで、自信を

持って意見を伝えることができるようになります。これは、社会に出てからも必要とされることです。学生から社会人へと意識を変えていくために、自己分析をすることは大切な第一段階といえます。

就職活動は多くの企業の中から自分に合った会社を探し、その会社に自分の強みをアピールしていくプロセスです。その中でも最も大切なのは自己分析だといわれています。なぜなら就職活動のすべてのプロセスの中心に自己分析があるからです。自己分析がしっかりできていれば、業界や企業を選ぶ際や、エントリーシートを書く際、また面接試験の際にも自信を持って臨むことができます。自己分析を深めていくことが、限られた時間の中で本当に自分に合った就職先を見つけるためのコツです。

4. 業界研究

(1) 総務省 日本標準産業分類に基づき、次のように分類しております。

A：農業、林業	K：不動産業、物品賃貸業
B：漁業	L：学術研究、専門・技術サービス業
C：鉱業、採石業、砂利採取業	M：宿泊業、飲食サービス業
D：建設業	N：生活関連サービス業、娯楽業
E：製造業	O：教育、学習支援業
F：電気・ガス・熱供給・水道業	P：医療、福祉
G：情報通信業	Q：複合サービス事業
H：運輸業、郵便業	R：サービス業（他に分類されないもの）
I：卸売業、小売業	S：公務（他に分類されるものを除く）
J：金融業、保険業	T：分類不能の産業

これだけ多くの業種から、自分の人生を託すにふさわしい業種を選ぶのは大変ですが、最初から業界を狭い範囲に絞ってしまわずに、多様な可能性を想定しましょう。

(2) 情報源

- ①キャリアセンターWebサイト、就職支援システム
- ②日本経済・朝日・毎日・産経・読売・日刊工業新聞など
- ③会社四季報（東洋経済）・会社情報（日本経済新聞）など
- ④企業Webサイト、就職ナビ（マイナビ、リクナビ、キャリアタス就活、あさがくナビ）など
- ⑤求人票及び会社案内、カタログなど
- ⑥就職活動体験記（就職支援システム）
- ⑦企業訪問・工場見学

(3) 企業研究

企業分析ノートを作り、資本金や従業員数などに加え、経営方針・社風などの特徴を同業他社と比較研究します。

また、企業訪問などで求人票やWebサイトだけでは分からない情報が得られることもあります。

(4) 企業が求める人物像

学生が就職活動で評価される能力

- ①コミュニケーション能力
- ②意欲的
- ③素直さ
- ④主体性
- ⑤創造性
- ⑥専門的スキル
- ⑦協調性
- ⑧ストレス耐性

その他、信頼性、フットワークの良さ、発想の豊かさなどが挙げられています。

5. 履歴書・履歴書用封筒

市販のものではなく、学校の履歴書を使用します。大学のロゴが入った履歴書は、履歴書作成ツールを使用します。履歴書用封筒はキャリアセンター、東キャンパスキャリアセンター、梅田サテライトキャンパスで配付（無料）しています。

履歴書から、社会人になるための最低のエチケットを身につけているかどうかが見られます。

- (1) 企業は学歴ではなく、トータルで何を学んできたかを見ています。今までどのようなことを身に付けどのような考え方をするのかを表現します。
- (2) 志望動機は、最も重要なアピールポイントです。企業、業界の仕事をどれだけ理解しているか、どれだけの熱意を持っているか表現します。

6. エントリーシート

企業が指定する形式の応募用紙です。ホームページ上で入力して送信する場合もあります。いずれにしても履歴書を作成することで、応用して記入できる内容がほとんどです。

企業がエントリーシートを導入する目的は

- ① 志望動機がはっきりしている学生だけをターゲットにしている。
- ② 業界を理解している学生をターゲットにしている。
- ③ 自己主張、社会人としての考え方の確立している学生をターゲットとしている。
- ④ 会社によっては書類選考を兼ねている。

7. インターンシップ、オープン・カンパニー

インターンシップとは、自身が興味のある企業に訪問し、実際に働いている人の話を聞いたり、仕事を体験する職業体験のことです。実際の業務や働く環境を体験することで、業務内容や働くことの理解を深めることを目的としています。

現在は上記のような就労体験を目的とした就労体験型インターンシップから、採用選考に直結する就活型インターンシップや1日単位で開催されるオープン・カンパニー（就業体験を必須とせず、「個社・業界の情報提供等」）が多くなってきています。

就労体験型インターンシップについては、本学が加盟する「大学コンソーシアム大阪」で他大学と共同で実施するインターンシップに参加することができます。

なお、参加する場合は事前研修の受講も必要となりますので、キャリアセンターからの案内で詳細を確認してください。

就活型インターンシップ、オープン・カンパニーについては、主に3年生を対象に実施されますので、就職先として検討している業界や企業を中心に積極的に参加してください。

なお、就活型インターンシップ、オープン・カンパニーへ参加するには、エントリーシートの提出や面接等の選考が行われる場合がありますので、事前にガイダンス等に参加して準備をしておくことが必要です。

(1) 事前学習・・・実習に先立ち、学内での事前教育を行います。

- ① インターンシップ、オープン・カンパニー参加の意義について
- ② 業界研究および企業研究
- ③ 保険等諸手続及び身だしなみについて
- ④ ビジネスマナー研修

(2) 研修・実習・・・実習先では、社員・職員と同じ責任と自覚を持って就業体験します。研修・実習期間は5日間以上（汎用能力活用型）、2週間以上（専門活用型）です。

■就活に向けて1年生からの過ごし方

注意：

- ◆就活の時期は変更になる場合があります。ガイダンスを通してキャリアセンターから情報を発信しますので、ガイダンスには必ず参加しましょう。
- ◆就活の時期の変更や、社会情勢により下記の行事は変更になる場合があります。キャリアセンターからのお知らせを随時確認してください。ポータルシステムより配信いたします。

学年	日程	キャリアセンターの主な行事	就活スケジュールと心がけること
1年生 2年生	5月～	5月からのイベントに参加 3年生向けのガイダンスが5月から開催されており、低学年も参加可能です。就活先取りで、3年生の就職活動の状況を覗いてみましょう。	SPI・一般常識試験等の対策は継続的に行いましょう。 学力は一日で身に付きません。 勉学に励み、計画的に単位修得に励みましょう。 資格取得も計画的に取り組みましょう。 「学生時代に力を入れたこと」は採用試験、面接で必ず聞かれる内容です。 自信を持って答えられるよう、様々な経験を通して有意義な学生生活を送りましょう。 留学、ボランティア、アルバイト経験、部活動、サークル活動等、様々な年齢層の方等、多くの人と関わりを持ちましょう。 人と協力して何かを成し得る経験をしましょう。
2年生	3月	就職準備ガイダンス (内容) 就活に向けてマインドセットし、就活準備としてやるべきことを意識付けします。	就活をスタートするために、非常に重要なガイダンスです。 必ず参加してほしいキャリアイベントです。 企業探しのポイント、自己分析の重要性、履歴書作成に繋がるエピソード作りなど、就活スキルの向上を目指すためのガイダンスです。参加必須イベントです。
3年生	5月	就活スキルガイダンス (内容) ①業界研究、②企業研究、③自己分析・自己理解、④試験対策(SPIとは)、⑤履歴書の書き方、⑥面接・マナー	筆記試験対策を継続的に行いましょう。
	7月～	夏期インターンシップ、オープン・カンパニーへの参加 ★非常に重要です！	インターンシップ、オープン・カンパニー開催について、情報を集めましょう。 随時、インターンシップに参加するためのエントリー(申込)が始まる場合もあります。 「夏期インターンシップ」に参加するために、選考が必要となる企業もあります。 書類や面接選考等の準備を始めましょう。 そして、夏期インターンシップには、必ず参加しましょう。 就活早期選考の参加に繋がります。
	11月以降		秋・冬のインターンシップ、オープン・カンパニーにも積極的に参加しましょう。
	11月～12月	OSU 就活フェスタ 対面とオンラインのハイブリッド形式にて、大手優良企業を中心に100社の企業の説明やインターンシップ、オープン・カンパニーの開催情報等を直接企業から聞くことのできるイベント。	業界研究、企業研究を行い、就活の幅を広げます。
	12月1月以降		履歴書は完成のレベルまで仕上げてください。 企業によっては、早期選考の情報が配信される場合があります。 エントリーシートの提出が求められる場合があるので、準備が必要です。
	1月～	キャリアセンターを積極的に利用しましょう。 履歴書添削、面接練習、就活講座への参加	夏期・秋冬開催のインターンシップに参加した企業から早期選考が行われる企業もあります。
	2月	公務員合同説明会 公務員説(警察、消防、行政、国家公務員、専門職等)仕事内容等について理解を深めます。 分野別企業説明会 各分野(業界)の企業から説明で各業界の理解を深めます。	公務員を受けるにあたっての実践的な内容、出願時期等を公務員採用担当から直接話を伺いましょう。 業界内の流れや他業界の競合他社との違いを詳しく知ることが出来ます。
3月	採用情報公開開始！ エントリー受付開始！	就職ナビ、オープン。 3月は幅広い企業にエントリーをしておきましょう。 より多くの企業と接点を多く持つ事が大切です。 また、これまでに内々定の出る企業もあります。	
4月	公務員採用試験開始！	選考スケジュールは自治体により異なります。	
4年生	6月	選考開始	実際、多くの企業はこの日程より早期に採用選考を始めています！！
	10月	内定式	

注意：スケジュールはあくまでも目安です！

実際は企業により様々。入社を希望する企業の動向は積極的にチェックしましょう。

内定をもらってから

1. 就活ルール

経団連は2018年10月に「採用選考に関する指針（就活ルール）」を廃止することを正式に決めました。このため経団連に変わり政府主導で採用活動の指針を決めることになり、2024年卒生の就活でも3月情報解禁、6月選考開始、10月内定出しというこれまでと同様のスケジュールで進行することとなっています。

しかし、以前から就活ルールは形骸化しており、「面接選考開始は6月1日以降」とされているが、それを順守している企業は極めて少なく、表向きは「6月1日選考開始」を謳いながらも、それ以前に「面接」との表現を使用しないだけで、実質的な面接選考を水面下で実施し、8割近くの企業が6月1日時点で内定・内々定を出しているのが現状です。

そのような影響からインターンシップ等を通じて早期から志望する業界、企業及び職種等を明確にし、早期化する採用活動に乗り遅れないように準備しておくことが重要です。

保護者の方々は自分のお子さんがどのように就職活動を考えているのかをご家庭で話し合いをするとともに、就職活動の不安から身体的や心理的に不調をきたしていないか、気を配っていただきたいと思います。

2. 複数の内定

今年度も増加傾向にあるのが「複数の内定」をもらう学生です。

就職スケジュールの変更により企業サイドも辞退を考慮に入れた採用活動を行いますので、優秀な学生に対しては積極的に内定を出してきます。

しかし、2社以上に内定をもらっても、就職できるのは1社のみなので、いろいろな条件を考慮してどの企業を選ぶか迷う学生は毎年出てきます。

また、内定をもらっても就職活動を続ける学生もいるなか、企業は、入社意思表示として指定された期日までに承諾書や誓約書の提出を求めてきます。

社会人になった後を考えて、署名、捺印の重要性をご家庭でもお話しください。

もし、学生が内定の対応に迷っていたり、分からないようであればキャリアアセンターで相談するようにご指導ください。

学校推薦により内定を得た場合は辞退することはできません。学校推薦を志望の際は、よく考えて応募してください。

3. 状況の変化

採用活動の早期化により、企業説明会、選考会が重なるケースが増加しつつあります。

たとえ志望度が高い企業であっても、同一日であれば1社しか受けることができません。

また、職業（就業）体験として位置づけられていた「インターンシップ」ですが、最近では選考過程において採用のポイントの一つになりつつあります。

耳にされたことがある保護者の方々もおられるかと思いますがオープン・カンパニーというものが最近増加傾向にあります。

従来のインターンシップとは夏期期間に5日間以上の実習が必要でしたが、このオープン・カンパニーは形を変えた「会社説明会」と言っても過言ではありません。

3月以降でないとできない会社説明会とは違い、参加する学生の個人情報を入力することも可能なので、業界を問わず特に秋から冬にかけて実施する企業が増えています。

従来のインターンシップが3年生を中心としていたものと比べ、このオープン・カンパニーは1年生、2年生が参加することも可能で、企業側が早い段階から優秀な学生とコンタクトをとる手段にしている場合もあるので注意が必要です。

4. 卒業延期

3年生のガイダンスや4年生が内定報告にきた際、重点を置いて説明しているのがこの「卒業延期」です。

毎年、内定先がありながら、学位が取得できず留年する学生が20～30人出てきます。

卒業見込みがあるからといって、卒業が決定しているわけではありません。学生の中にはギリギリで卒業見込みがでている場合もあります。

就職活動で授業を休んでも公欠とはなりません。無断欠席でないことを授業担当教員に知らせることはできますが、成績等の配慮の取扱いは担当教員の判断によります。

出席をとる科目については、平常点が考慮され、試験だけで単位を修得できるわけではなく、就職が決まっているからといって合格点をつけてくれたり、特別な配慮はないことを保護者の方々も十分注意してください。

1. 就職について（保護者に知って頂きたいこと）

（1）成功する就職の秘訣

就職活動の成功の鍵、その中でも大切なのが幅広いコミュニケーション能力とされています。自分の適性を知るためにも、知識を身につけさせるためにも、先ず、周囲の人たちの意見を聞く（参考にする）必要があります。

入学してから何となく学生生活を送り、じっくりと自分の進路について考える機会がないまま、慌しく就職活動を始める学生が非常に多いです。そのようなことがないように、身近な人たち、特に家族、教員やキャリアセンターの職員、身近な目上の方などと今後の進路（就職）をテーマに話し合うのも大切なことです。

（2）家族の応援

家族は、学生の一番の応援者であり、学生と企業を結ぶナビゲーターとなります。

就職活動の進行状況は、家族にも明確に話をしてもらうようにしてください。

また、自己分析をする際にも、「客観的な分析」として家族の意見がとても役立ちます。

しかし、甘やかしは禁物です。学生が家族や友人と話す時は、甘えたり怒ったり感情的な態度で接しますが、一人の「大人」として、しっかりとした態度でコミュニケーションを取ることが大切です。そして、借り物の言葉ではなく、自分の言葉で話すということは、面接でもとても大切です。将来につながる、やりたいことを見つけ、興味のあることについては的確に話せるようになって欲しいものです。最終的には「自分で決める」という意志を持つことが大切です。

（3）学生としての心構えと企業が求める学生像

就職活動の時期が早期化し、最終学年に入る前の2月ごろから、学内外で企業説明会などがピークを迎えます。就職活動を積極的に行うためにも、3年次までに卒業に必要な単位（卒業要件単位）をできるだけ多く修得しておくことが望ましいです。

学生の気質として、与えられたことに対してすら消極的でおとなしいタイプや、指示待ち型の学生が増加しています。企業側は、積極的でコミュニケーション能力のある学生、めげない、明るい性格の人を望んでいます。

(4) キャリアセンターの活用

学生にとっては、就職活動は初めての体験であり、不安や迷い、疑問や悩みがあって当然です。そんな時は、一人で悩まず、家族や友人は勿論のこと、キャリアセンターの活用を勧めてください。

教員やキャリアセンターは、名サポーターであり、親身になって相談に乗ります。

きっと問題解決の糸口が見つかるはずです。

2. 学部・学科と就職について

(1) 国際学部の紹介

国際学科

本学科では、実践的な言語能力を身につけたい人や豊かな国際的センスを研ぎたい人を対象にして、アットホームな少人数教育で「生きた語学」の習得を目指します。

情報化・グローバル化が急速に進む今日、異文化理解をベースにした本当のコミュニケーション力を身につけるためには、日本語能力の向上に加えて、英語・中国語・その他の外国語を習得すること、さまざまな異文化を学ぶことが欠かせません。

こうした学びを通じて、身近な国際化に貢献できる人材を育成します。

学科が推薦する就職に役立つ資格

【卒業と同時に取得できる資格】

- ・ 中学校教諭一種免許状（英語）
- ・ 高等学校教諭一種免許状（英語）
- ・ 社会福祉主事任用資格
- ・ 日本語教員資格

【在学中もしくは卒業後にめざしたい資格】

- ・ 秘書技能検定
- ・ Microsoft® Office Specialist (Word、Excel)
- ・ 日本語検定 2 級
- ・ 日本語教育能力検定試験
- ・ 日本語能力試験 N 1
- ・ B J T ビジネス日本語能力テスト
- ・ 「ハングル」能力検定 2 級
- ・ 韓国語能力検定 (TOPIK) 5 級
- ・ 実用フランス語技能検定 2 級
- ・ DELF (B 1)
- ・ ドイツ語技能検定試験 2 級
- ・ 中国語検定試験 2 級
- ・ HSK 5 級
- ・ ピアヘルパー
- ・ 心理学検定 1 級
- ・ TOEIC®
- ・ TOEFL®
- ・ IELTS™

(2) スポーツ健康学部

スポーツ健康学科

社会に貢献できる“スポーツと健康”のプロの育成

スポーツ健康学科では「スポーツで人々を幸せに！」をスローガンに、スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会に貢献できる「スポーツマインド」を有した人材の育成に資する教育や研究を行います。具体的には、1) 保健体育科教諭、 2) スポーツ指導者、3) 健康増進活動を支援できる人材、さらには、4) 地域のスポーツ振興を担える人材を輩出することを目的に教育・研究を行っています。

学科が推薦する就職に役立つ資格

- ・ 中学校教諭一種免許状（保健体育）
- ・ 高等学校教諭一種免許状（保健体育）
- ・ 健康運動指導士
- ・ 健康運動実践指導者
- ・ 障がい者スポーツ指導者（初級）

(3) 経営学部の紹介

経営学科

企業人として必要とされる様々な能力の育成

経営学や会計学等の専門教育に加えて、1年次からゼミナールを開講し、4年間を通じて課題を発掘、解決する能力を養成します。加えてプラスαの能力育成のためビジネススキル科目、キャリアスキル科目を開講し、資格取得や自己実現に向けて努力する力を養成しています。

卒業時には企業人として必要とされる、「専門的能力や知識を修得し企業人として組織に貢献できる高い目標を設定し」、「諦めず考え抜き」、「前に踏み出していく」、そのような力を持った人材を育成します。

学科が推薦する就職に役立つ資格

- ・ 高等学校教諭一種免許状（商業）
- ・ リテールマーケティング(販売士)検定
- ・ 簿記検定
- ・ 基本情報技術者試験
- ・ 旅行業務取扱管理者
- ・ ビジネス会計検定
- ・ マネジメント検定
- ・ 色彩検定
- ・ ファッションビジネス能力検定
- ・ 繊維製品品質管理士

商学科

ビジネス創造の実践力を備えた人材の育成

商学科では、商学に加えて、会計、経営、情報等の専門知識を学びます。

たとえば、誰が何を求めているかを調査し、どんな商品をつくり、どんな売り方をすれば効果的なのかを考えるマーケティング。企業が効率的に安定した経営を行っているのかを分析する会計。個々の消費者がもたらす膨大な

データを活用する新時代の I T ビジネス。商品・情報・サービスの効率的な流れを管理するロジスティクス。

海外も視野に入れた幅広い学びを通じて、消費者のニーズからよりよい商品と売れるしくみを生み出し、新しいビジネスを創出できるグローバル・ビジネスリーダーを育成します。

学科が推薦する就職に役立つ資格

- ・ 中学校教諭一種免許状（社会） ・ 高等学校教諭一種免許状（公民）（商業）
- ・ I T パスポート試験 ・ F P 技能士 ・ 宅地建物取引士 ・ 通関士
- ・ リテールマーケティング（販売士）検定 ・ 貿易実務検定 ・ 簿記検定
- ・ Microsoft Office Specialist (Word・Excel) ・ 秘書技能検定 ・ 日商 PC 検定
- ・ ビジネス統計スペシャリスト ・ 統計検定 ・ スポーツイベント検定

（4）経済学部 紹介

経済学科

現代社会の諸問題に立ち向かい、日本経済の未来を拓くエキスパートに

経済学科では、経済の基礎知識と社会の仕組みとを理解し、変容を続ける現代社会を読み解く能力を持つとともに、社会の諸課題に立ち向かい、将来を開拓することのできる学生を育成します。具体的には、経済の重要テーマに関する講義・演習を通じて、社会人として必要なコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力を培います。

学科が推薦する就職に役立つ資格

- ・ I T パスポート試験 ・ ファイナンシャル・プランニング技能士（F P 技能士）
- ・ 簿記検定 ・ Microsoft® Office Specialist (Word, Excel)
- ・ E R E（経済学検定試験） ・ 秘書技能検定

国際経済学科

変動する世界経済を導き、国内外に情報発信できる国際派ビジネスマンに

国際経済学科では、国際化が進展する日本および世界の経済社会を対象とし、多様性と普遍的価値の調和をめぐる諸課題に取り組むことのできる学生を育成します。具体的には、「世界の中の日本」を意識した講義・演習を通じて、一体化・流動化が進む国際社会を先導するコミュニケーション能力やリーダーシップを培います。

学科が推薦する就職に役立つ資格

- ・ I T パスポート試験 ・ ファイナンシャル・プランニング技能士（F P 技能士）
- ・ 簿記検定 ・ 旅行業務取扱管理者 ・ Microsoft Office Specialist (Word, Excel)
- ・ E R E（経済学検定試験） ・ 秘書技能検定

(5) デザイン工学部の紹介

情報システム学科

デザインにもICTにも強い情報システム技術者の育成

デジタル革新による人間中心の社会を担う情報システムの設計開発技術者および多様な事業ニーズに即応できる技術者等を組織的に養成するため、ソフトウェア設計、ネットワーク、組込みシステム、Webシステム、感性デザイン、コンピュータグラフィックスの各領域の教育研究指導に取り組んでいます。

系統的な理論学習やプログラミングなどの実践的な演習だけでなく、企業の技術者との連携により行う講義や実務を模擬した演習、現場体験に力点を置いたフィールドワークなどをバランスよく融合したカリキュラムを設定し、高機能化した超スマート社会に対応できるICT知識とスキルの習得を目指します。

学科が推薦する就職に役立つ資格

- ・基本情報技術者試験
- ・ITパスポート試験
- ・CCNA（シスコ技術者認定）
- ・CCNP（シスコ技術者認定）
- ・応用情報技術者試験
- ・情報セキュリティマネジメント試験
- ・LPIC（GNU/Linux）
- ・Linux（GNU/Linux）
- ・統計検定

建築・環境デザイン学科

デザイン力で多様なニーズに応える人材育成

身の回りの小さなモノから街づくりまでをトータルに学べる学科です。幅広い分野をフォローするため、「都市環境デザイン」「建築デザイン」「インテリアデザイン」「クラフトデザイン」「プロダクトデザイン」の5コースで特色ある教育を行います。

それにより、多角的な視点と豊かな感性を養いつつ高い専門技能の習得を目指し、新しい未来の創造に向けて真摯に取り組むことができるデザイナーを養成します。

学科が推薦する就職に役立つ資格

- ・一級、二級木造建築士
- ・インテリアプランナー
- ・商業施設士
- ・一級、二級建築施工管理技士
- ・中学校教諭一種免許状（美術）
- ・高等学校教諭一種免許状（美術、工芸、工業）

環境理工学科

環境を科学的に理解し、課題解決ができる人材を育成

現代社会には多くの環境問題が存在しますが、持続可能な社会を構築することは、私たちの重要な課題です。

環境理工学科では、環境について体系的に学ぶカリキュラムに加え、さらに専門分野を深く学ぶため、「環境技術コース」「地域生態系コース」「環境緑化コース」「環境計画コース」の4つのコースを設置しています。水・大気・生物・都市などの様々な環境について、自ら調査・測定することで科学的に理解し、環境問題を解決するための様々な技術を学びながら実践することで、実社会に貢献できる人材を育成します。

また、実験およびフィールドワークの能力に優れた高校および中学校の理科教員を養成します。

学科が推薦する就職に役立つ資格

- ・ 中学校教諭一種免許状（理科） ・ 高等学校教諭一種免許状（理科）
- ・ 公害防止管理者（水質） ・ 技術士補（上下水道部門／衛生工学部門／環境部門）
- ・ 放射線取扱主任者 ・ 放射線業務従事者
- ・ 宅地建物取引士 ・ 1級、2級造園施工管理技士 ・ 社会調査士
- ・ 環境再生医（初級） ・ 2級ビオトープ計画管理士
- ・ 2級ビオトープ施工管理士 ・ 環境社会検定（eco検定）
- ・ 生物分類技能検定 ・ 3R ・ 低炭素社会検定 ・ 環境管理士
- ・ MOS (Microsoft Office Specialist) スペシャリストレベル（一般） Word&Excel

(6) 工学部の紹介

機械工学科

ものづくりの実践力を持った技術者の育成

技術者として求められる素養は、専門知識とそれを活用する実践力、どのように考えてどのような結果となったかを伝える力です。本学科では、実習、演習、実験といった体験型の授業を通して、「ものづくり」のイメージができた上で機械工学の基礎である「材料力学」「流体力学」「機械力学」「熱力学」とともに「制御工学」の知識を習得します。さらに、報告書などを含む科学技術文書作成能力の育成を念頭に自分の考えを「まとめる力」と「伝える力」の習得を目的とする日本語カリキュラムを設けております。最後に総まとめとして、卒業研究という「プロジェクト」に取り組んで、習得した知識をどのように活用するかを自ら考え行動する力、まわりの人と協力して働く力、自分の意見をわかりやすくまとめて伝える力を身につけます。また実際の産業との連携活動が活発なのも本学科の特徴であり、実社会で通用する実践力を磨きます。

学科が推奨する就職に役立つ資格

- ・技術士、技術士補（機械部門）
- ・機械設計技術者
- ・高等学校教諭一種免許状（工業）
- ・職業訓練指導員免許
- ・国家公務員採用一般職（大卒機械）
- ・第2種ME技術者
- ・TOEIC500点以上
- ・CAD利用技術者試験
- ・ITパスポート試験

交通機械工学科

交通機械に強い実践力ある技術者の育成

機械工学の基礎となる材料力学、機械力学、熱力学、流体力学を修得し、さらに機械加工・機械設計に関する科目を学び、機械技術者としての基盤を形成します。その上で、応用として「自動車工学」「鉄道工学」に関する科目を数多く履修し、交通機械技術者としての専門知識を習得します。

3年生後期から研究室に配属し、自動車・鉄道等の交通機械に関する卒業研究により、深く考察する力、議論する力、文章をまとめる力、発表を行う力を身に付けさせ、社会で活躍できる能力を養成します。

本学科では、講義の主要科目は少人数クラスで実施し、実験・実習の科目はさらに少人数のグループで行い、教員との対話を重視しています。このような教育・研究により、実践力のある技術者の育成を目指しています。

学科が推奨する就職に役立つ資格

- ・技術士、技術士補（機械部門）
- ・二級自動車整備士
- ・高等学校教諭一種免許状（工業）
- ・高圧ガス製造保安責任者（甲種機械、乙種機械）
- ・危険物取扱者（乙種）
- ・電気主任技術者（二種・三種）
- ・電気工事士（一種・二種）
- ・社会福祉主事任用資格
- ・社会保険労務士

都市創造工学科

未来の都市創造と都市再生に貢献できる技術者の育成

都市は老朽化しており、更新の時期を迎えています。同時に、都市は少子高齢化や地球温暖化、自然災害など、様々な問題に直面しています。他方、昨今の情報技術の進展は、都市に求められる機能や都市に対する考え方もも急速に変化させています。このような時代において、都市基盤（インフラストラクチャー）整備を担う技術者には、都市再生と既述の都市問題の解決を両立させるための知識や技術が求められます。加えて、変化していく都市の未来像を描き、それを実現していくための幅広い素養も併せ持たなければなりません。都市創造工学科では、都市再生と未来の都市創造において活躍することのできる技術者を育成します。

卒業後に役立つ資格

・技術士 ・技術士補（建設部門、上下水道部門） ・一級・二級土木施工管理技士
・一級・二級建築士 ・測量士 ・測量士補 ・コンクリート技士・主任技士

電気電子情報工学科

CASE社会(*)で求められる人材育成

電気電子工学分野（電力・エネルギー、計測・制御、物性・電磁波）、情報通信工学分野（情報、通信システム、ネットワーク）を柱にして、系統的・段階的に学ぶことができるカリキュラムを構築しています。

これらの学習を通して技術者としての役割を理解し、それぞれの分野の問題に立ち向かっていく技術者の育成を目標とします。

このため、豊かな想像力と実学的知識に加えて、課題設定・解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力を修得いただくことを目指します。

(*) CASE（C：つながる、A：自動化、S：シェア&サービス、E：電動化）とよばれる社会に向かっている

学科が推薦する就職に役立つ資格

・技術士、技術士補（電気・電子部門） ・電気通信主任技術者
・電気通信の工事担任者 ・ITパスポート試験 ・基本情報処理技術者
・第一級、第二級陸上無線技術士 ・第一種、第二種電気工事士
・第三種電気主任技術者 ・1級、2級電気工事施工管理技士

3. 企業における採用の傾向と就職活動のポイント

(1) 新卒採用のねらいはコア人材

派遣・契約社員の採用など雇用形態の変化により、新卒採用では企業の将来を担う「コア人材」を獲得しようという傾向がより強くなってきています。

学生は、志望企業に対して熱意と意欲を示し、その企業にとって有益な人材であることをアピールする必要があります。

(2) 早期囲い込みを図る

早期に優秀な学生の囲い込みをしようと、就活型インターンシップやオープン・カンパニーを開催する企業が増加しています。

夏期のインターンシップは直接採用とは関係ない企業もありますが、多くは採用に直結する就活型インターンシップとも言えます。

インターンシップは3年生の夏、オープン・カンパニーは秋から冬の開催が多く、企業の採用スケジュールを把握して見逃さないよう、学生も注意が必要です。

(3) ネットで進む採用活動

企業の就職情報サイトにエントリー窓口を設け、Webサイト上で採用情報を提供するというのが、採用活動のベースとして完全に定着しています。

ネット中心の就職活動をすすめる中で、企業の情報を十分に把握せず、選考に勝ち残って行くことばかりに意識が向かいがちになりますが、本当の自分にあった企業を自分の目でしっかり見極めるという意識を常に持つことが重要です。

(4) さらに重視される面接試験

ネットを用いて採用活動を合理化する一方で、適性や人間性をじっくり見極めるとともに学生を自社に惹きつける意味から、面接試験をさらに重視していこうという動きが見られます。

企業の重視する資質はコミュニケーション能力といわれています。面接官が何を問い、何を求めているかを正しく理解し、的確に答えられることが重要です。

求人数は増加していますが、厳選採用により企業は一人ひとりの質の高さを求めるようになっていきます。

せっかく入社しても、新卒で入社後3年以内に約3割の人が離職しているという調査結果もあります。自分と職業や職場が合わない、いわゆる「ミスマッチ」が原因だといわれておりますが、その根が就職活動時にあるのは間違いないでしょう。

ミスマッチを回避するには、表層的なイメージや錯綜する情報に左右されることなく、まず、「自分」の就職内定から社会人としての活躍に至るまでの過程を考える必要があります。それが学生自身の適職を見つけだす近道だと考えます。

その中で、「自分はどの方向を目指したいのか?」「5年後、10年後の自分はどんな社会人になりたいのか?」ということを確認にし、それを実現するためにはどうスタートを切ればよいのか、ということを生徒自らが発見しそのために努力する場所、そして相談する場所、それが「キャリアセンター」です。

是非、キャリアセンターを通じて自分の適性を見極め、それに合った職種で選択することによってミスマッチを回避し、社会人としてのスタートをきって欲しいものです。

4. 令和5年度の就職状況と今後について

(1) 全般的状況

令和6年3月卒業者に対する採用は、求人倍率が1.71倍（リクルートワークス調べ）と昨年の1.58倍から0.13ポイント上昇となりました。（一昨年の1.50倍からは0.21ポイント上昇）

一昨年度は、コロナ禍の影響を受け、わずかに低下したものの、1.5倍台を維持し底堅い結果となったが、昨年は0.08ポイントの上昇となり、回復傾向が見られる。

また、業種別に見ると建設業、製造業、サービス・情報業について、求人倍率が上昇した。特に建設業、流通業での上昇幅が大きく、建設業は2010年以降で最高値となった。流通業についてもコロナ禍直前の高い水準に近い倍率となっている。

一方で、金融業はおおむね同水準で推移している。

(2) 本学の状況とお願い

キャリアセンターからの求人依頼や平成28年度に導入した「求人検索NAVI」では、令和5年度の求人社数は令和6年1月現在約16,700社と昨年度に比べ約3,600社が増加し、各業界の多くの企業から求人をいただいています。

学生は、インターネット環境があれば求人票やその他の採用情報を確認することができ、キャリアセンターでは積極的に活用するよう、ガイダンス等で説明をしています。

キャリアセンターでは、複数名のキャリアカウンセラーが本館・東キャンパスに常駐しており、メンタル面も含めた丁寧なケアを行っています。また、キャリア形成の一つとしての「就職」というものに対する意識を高めていただけるよう、学科毎に担当者を配置し、一人ひとりの学生に寄り添って履歴書やエントリーシートの添削指導、面接練習等も行っておりますので、気軽に利用してください。

学内イベントについては、各学年、必要な時期に応じた就職ガイダンスや各種講座、筆記試験対策、業界研究セミナー、合同企業説明会・単独企業説明会を実施しています。各行事の案内は、学内掲示、ポータル、Line@、DM郵送などで案内していますので、保護者の皆さまからも参加を促していただきますよう、お声掛けをお願いいたします。

2022年 主な決定企業一覧

【国際学科】	【スポーツ健康学科】	【経営学科】	【商学科】	【経済学科】	【国際経済学科】
ANA沖縄空港株式会社	大和ハウス工業株式会社	大阪信用金庫	株式会社アーストリテイリング	北おおさか信用金庫	フジングループ本社株式会社
甲賀農業協同組合 (JAこが)	総合警備保障株式会社	岩井コスモ証券株式会社	株式会社スキハウス	近畿日本鉄道株式会社	株式会社関西丸和ロジスティクス
株式会社一条工務店	株式会社NTTフィードテクノ	株式会社佐賀銀行	株式会社アルペン	株式会社クマヒラ	西尾レントオール株式会社
株式会社ECC	日本管財株式会社	西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本)	インターコンチネンタルホテル大阪	株式会社帝国データバンク	警視庁
株式会社インターグループ	小西医療器株式会社	フジパンググループ本社株式会社	株式会社ヨドバシカメラ	株式会社百十四銀行	株式会社ヨドバシカメラ
株式会社エーピーシー・マート	大阪トヨベット株式会社	リゾートラスト株式会社	大樹生命保険株式会社	富士フイルムメディアカル株式会社	株式会社たねや
株式会社ヤマガホルディングス	株式会社YRK and	大阪府警察本部	大阪シティ信用金庫	株式会社保険デザイン (住友生命グループ)	株式会社カイインズ
株式会社あさひ (付イクルバスあさひ)	防衛省 陸上自衛隊	長岡京市役所	西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本)	昭和産業株式会社	守口市門真市消防組合
株式会社西原商会	大阪府警察本部	イオンリテール株式会社	山九株式会社	ヤンマーホールディングス株式会社	ルイ・ヴィトンジャパン株式会社
株式会社ホテル京阪マリエメント	京都市消防局	住友不動産販売株式会社	タマホーム株式会社	株式会社ライフコーポレーション	近畿財務局 財務専門官
京都府警察本部	松江市消防本部	株式会社TOKYO BASE	関西サービス株式会社	リコージャパン株式会社	リゾートラスト株式会社
神戸信用金庫	学校法人佛教教育園 東山中学・高等学校	株式会社ヤナセ	神戸大学大学院	大阪市役所	株式会社平和堂
大阪府警察本部	学校法人関西光学園 金光藤蔭高等学校	モランボン株式会社	大阪大学大学院	大阪府警察本部	大和ハウス工業株式会社
枚方寝屋川消防組合	秋田ノーザンハピネッツ株式会社	TOTO関西販売株式会社	東京消防庁	警視庁	大阪信用金庫
	株式会社千葉ジェッツふなばし		兵庫県警察本部	防衛省 陸上自衛隊	学校法人神戸学院 神戸学院大学

主な進路実績 (2022年度) は以下の企業、団体となります。

【情報システム学科】	【建築・環境デザイン学科】	【環境理工学科】	【機械工学科】	【交通機械工学科】	【都市創造工学科】	【電子情報通信工学科】*
旭情報サービス株式会社	西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本)	イビテックリーディング株式会社	NCS&A株式会社	あいおいニッセイ同和損害調査株式会社	新居浜市役所	株式会社NTTデータ関西
株式会社インターネットインシアティブ	阪神園芸株式会社	大平やさい株式会社	TOWA株式会社	大阪高速電気軌道株式会社 (大阪メトロ)	高砂市役所	株式会社関エネビルソリューション
エクシオグループ株式会社	株式会社アーネストワン	影近設備工業株式会社	アマノ株式会社	バンドー化学株式会社	井原市役所	株式会社クリハラント
株式会社エヌユーエス	大豊建設株式会社	株式会社新井組	アルインコ株式会社	アムアネットエレクトロニクス株式会社	西日本高速道路株式会社	JUKI株式会社
NTTコムウェア株式会社	株式会社SUEP.	株式会社アノ大塚建設エンジニアリング	エスベック株式会社	ヤフー株式会社	京阪電気鉄道株式会社	寺崎電気産業株式会社
株式会社NTTデータSBC	株式会社鴻池組	株式会社海昇	ガジマハトロエンジニアリング株式会社	フジパンググループ本社株式会社	清水建設株式会社	東光電気工事株式会社
NTTテクノクロス株式会社	日本住宅株式会社	株式会社環境テクノス	クボタ環境エンジニアリング株式会社	株式会社NTTフィールドテクノ	西松建設株式会社	東芝エレクトロニクスシステム株式会社
株式会社NTTファイブティーズ関西	岩崎工業株式会社	株式会社神崎高級工業製作所	クボタ機械設計株式会社	株式会社アイシン	五洋建設株式会社	日本電設工業株式会社
株式会社NTTフィードテクノ	ARアドバンステクノロジ株式会社	株式会社木内計測	ダイベア株式会社	株式会社日立産機システム	株式会社熊谷組	阪神高速技術株式会社
キオクシア株式会社	株式会社ブレイヴ	株式会社クリハラント	アムアネットエレクトロニクス株式会社	株式会社リブドゥコーポレーション	シヨーポンド建設株式会社	富士ソフト株式会社
近畿ケーブルネットワーク株式会社	株式会社ヤマダホームズ	株式会社阪南コーポレーション	芦森工業株式会社	関西電力株式会社	株式会社きんでん	三菱電機フロンティアエンジニアリング株式会社
株式会社きんでんスピネット	株式会社一条工務店	株式会社ピーエムコンサルティング	株式会社オーケーエム	近畿車輛株式会社	青木あすなろ建設株式会社	株式会社湯山製作所
株式会社ケー・エス・ティー	鹿島道路株式会社	株式会社モンベル	株式会社きんでん	近畿日本鉄道株式会社	大豊建設株式会社	明石市役所
コンピュータマリエメント株式会社	株式会社ジェイアール西日本ビルト	株式会社ユニバーサル園芸社	株式会社ダイキンエアシステムズ	九州旅客鉄道株式会社 (JR九州)	株式会社竹中土木	和歌山県教育委員会
株式会社さくらケーシーエス	株式会社NTTアシアリティー関西	積水アクアシステム株式会社	株式会社大阪ガスアシアリティーエス	西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本)	大末建設株式会社	大阪公立大学大学院 工学研究科

*2023年度より【電気電子情報工学科】に名称変更

(3) 今後について

(1) や (2) でもお知らせしましたように、昨今の就職スケジュールの変動で本学の学生が不利益を被らないように、従来のガイダンスや試験対策講座をその都度スケジュールにあったものに手直しをする必要があります。

1年生から参加できるイベントや試験対策講座も引き続き実施し、3年生になって慌てないようにするとともに、学科の教員と共同して就職指導の強化を図ります。

以上のような方策を、変化する就職活動に対して教員と協力して全学的な体制で取り組んでいく予定です。これまで以上に保護者の皆様の多大なご支援をお願いします。

■保護者の皆様へ —大学で学ぶ意味—

学長 小川和彦

保護者の皆様、ご子息、ご息女のご入学、まことにおめでとうございます。大学は小中高大の最後の段階であり、卒業後は社会へ出ることとなります。高校までの教育と大学での教育は大きく異なっており、大学は「学術的視点を備えて生きる力」「自ら研究しながら学び続ける力」を身に付ける場と言えます。そこで、あらためて大学で学ぶ意味は何かについて、ご説明したいと思います。

(1) 「生徒」から「学生」へ

高校までは在学する者のことを「生徒」と呼び、大学では「学生」と呼んでいます。「生徒」は決められた授業をクラスで受けるという、受け身の立場で学習することが多いと思われれます。一方、大学では在学する者のことを「学生」と呼びます。この言葉はもともと仏教用語で、仏道を修行する僧、儒教などを学ぶ者のことを指しています。自ら求めて学ぶということは、現在の大学生も同じです。積極的に学問に取り組む者が「学生」です。

自ら求めて学ぶ者、つまり「学生」は「大人」としての自覚が求められます。大学に入学した実際の動機やきっかけはともかくとして、大学を選んで入学したわけですから、誰かが強制して入学させたわけではありません。したがって、学生は漫然と授業に出席すればよいということではなく、学ぶ目的を考え、積極的に勉学に励んでほしいと考えています。

学ぶ目的は、将来どのような人間になりたいか、つまりキャリアに直結します。何を学ぶのか、将来どのような職業に就きたいか、どんな人間になりたいかについて、「学生」諸君には在学中にじっくりと考えてほしいと願っています。

(2) 大学で学ぶ意味

2.1 大学の目的

文部科学省の「学校基本調査」の統計によれば、令和3年度(2021年度)の高校への進学率は、全日制、定時制、通信制を含めて98.9%に達しています。また、大学への進学率は毎年少しずつ上昇し、同じく「学校基本調査」によれば、令和5年度(2023年度)には57.7%となっています。

大学での在学は社会へ出るための準備期間であり、大学で学ぶ目的は、「社会で生きていくための能力を身につけること」であると思います。「生きる力」は小中高においても教育の目的となっていますが、以下の大学設置の目的を踏まえると、「学術的視点を備えて生きる力」「自ら研究しながら学び続ける力」を身に付けることが目的であると考えます。

大学が設置されている目的は、法令では学校教育法第83条に規定されており、

「第83条 大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。
2 大学は、その目的を実現するための教育研究を行い、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。」

となっています。

上記のように大学では、学術中心の教育をもとに知的、道徳的及び専門的能力を養成し、さらに卒業後も持続していく能力を養成することが目的です。もう少し詳しく言えば、次に述べるリテラシーとコンピテンシーの二つの能力を身に付けることが大学教育の目的であると考えます。

2.2 大学ではリテラシーとコンピテンシーを養成

知的、道徳的及び専門的能力が何を意味するのかを、一言でいうのは難しいですが、これらの能力は概ね「リテラシー」と「コンピテンシー」に分けられます。

まず「リテラシー」とは、小中高ではいわゆる読む、書く、計算するというような能力を指します。大学での「リテラシー」は、ある専門分野の知識や情報を収集し、それを分析して様々な課題・問題に活用していく能力のことを意味しており、専門分野の知識と運用に関する基本的能力に相当します。これらの能力は、学力試験や実技試験などによって比較的容易に測定することができます。

次に「コンピテンシー」とは、行動、態度、思考などの傾向や特徴などを意味し、「コミュニケーション能力」「独創性」「問題解決力」「協調性」など、社会で実際的な成果を上げる資質もしくは能力を表す言葉です。コンピテンシーの部分は、自分で調査を行い、仲間や教員と議論をしながら、自分の意見や見解をまとめ、プレゼンテーション（発表）を行って討論を重ね、課題の解決を目指す、というような訓練から養成されるものです。したがって、試験などによって測定することが難しい能力です。

コミュニケーション能力といっても、単に他人と話ができるということではなく、相手の言うことを理解して整理し、さらにそれを発展させて対話していく能力が社会では必要とされます。また「独創性」はいわゆる独創的な発想とそれを作り上げる能力、「問題解決力」は困難な問題に直面した時に、原因を考え方策を見出して対応する能力、かつそれをやり遂げていく意志の力です。「協調性」については、あえて説明するまでもないかと思いますが、社会で活躍していく上で、他者と協力しあう能力のことを指しています。

リテラシーやコンピテンシーの能力については、小中高でもそれぞれのレベルに応じた教育が行われていますが、大学ではさらに高度な教育となります。専門分野の能力に加えて、課題を発見し知識やスキル（技能）を組み合わせるなどして、社会の場で成果をあげるために、これらの能力を総合的に運用し、行動力を養成することが、「大学で学ぶ意味」であると考えます。

大学では、演習科目、実験科目、そして卒業研究などの科目により、総合的な能力を養成しています。この能力は、短い時間で身に付くものではありません。そのために、大学での在学は4年という比較的長い期間となっています。

AI（人工知能）やデータサイエンスで象徴されるように、現在は既に急激な社会の変化、テクノロジーの変化の時代となっています。生涯の間に2つあるいは3つくらいの専門分野に関わらなければならないくらいの変革があるかもしれません。在学中に卒業研究などを通じて、未知の問題に取り組むとき、自分に欠けている知識や技能は何か、何を調べなければならないか、ということをもまず考える必要があります。これらの経験は、将来大きく社会が変化して現在の知識が古くなった場合に、新しいものを自ら吸収し、対応していく能力として不可欠です。したがって、「学術的視点を備えて生きる力」「自ら研究しながら学び続ける力」を養っておくことが必要です。

(参考)

本学では、教育課程を終えたときに身に付けておくべき能力を各学部・学科ごとに定め、それらを「ディプロマ・ポリシー」として公開しています。また、その能力を養成するためのカリキュラムの作成方針を「カリキュラム・ポリシー」として定めています。

各ポリシーは URL: <https://www.osaka-sandai.ac.jp/about/educationpolicy.html> をご覧ください。本学ホームページ表紙「TOP」→画面左端「MENU」の「大学案内」→「本学の教育理念等」でたどれます。) 大学の教育は、以上のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに従って実施されています。

2.3 大学は教育と研究の両面があることについて

大学では教育と研究の両方を行っています。大学は学生を教育し、次世代の人材として社会へ送り出すことが一つの使命です。大学の他に研究のみを行う研究機関として、国立の研究所、あるいは企業の研究所がありますが、このような機関の多くは学生を広く受け入れているわけではなく（例外もありますが）、教育が目的とはなっていません。

大学の教員には、教育者と研究者という両面があります。これが小中高の教員と大きく異なる点です。大学では、研究が教育に直結しています。たとえば理系学部の場合、教員が研究を通じて学生と一緒に調査・分析・実験等を行い、結果について議論を重ねながら未知の問題を解決する道筋を学生が体得していく必要があります。これは文系学部でも同様であり、学生は教員の専門分野における研究手法を学ぶことで、社会において発生する新しい課題に対する解決能力を養うことが必要となります。学生が身に付けるべき能力は、研究を通じて養成されていくものです。

教員が学生にそれぞれ研究テーマを与え、学生自ら研究を行うことにより、さきほど説明した「リテラシー」と「コンピテンシー」という能力を養成するというのが大学の姿です。これからは、文系・理系という枠にとらわれない、総合的な知識と能力が今以上に必要となっていくため、「研究」を行うことによる教育は非常に重要と考えます。

2.4 プロジェクト共育について

前節で述べたことは正規の教育課程ですが、これに加えて本学では、「OSU プロジェクト共育」と称して、社会人の基礎力を養成するための学生主体の課外の活動を2007年度から全学的に導入しています。これは大学の教育カリキュラムではなく課外活動ですが、希望する学生がプロジェクトに所属して活動を行っています。

現在14のプロジェクトがあり、自ら積極的に参加することで、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」といった、社会人基礎力を実際の経験を通して養える優れた課外活動です。

このプロジェクトにより、仲間とともに共同で活動を行いながら「チームで働く力」を養成し、専門知識などを生かして「考え抜く力」、未知の課題に取り組んで「前に踏み出す力」、他にないものを生む「独創性」などを養成します。これはさきほど述べた「コンピテンシー」の部分を飛躍的に向上させる教育となっています。

(参考)

プロジェクト共育 URL: <https://www.osaka-sandai.ac.jp/campuslife/project/> をご覧ください。本学ホームページ表紙「TOP」→画面左端「MENU」の「プロジェクト共育」でたどれます。

(3) 大学院のすすめ

大学に入学したばかりなのに、大学院の話は早すぎるのではと思われるかもしれませんが、しかしながら、現在の社会は最近のデータサイエンス、人工知能(AI)に代表されるように、高度に発達した社会となっています。このような社会において、解決すべき問題は非常にレベルの高いものとなっており、これに対応できる独創性や問題解決力を養成するには、学部4年間では難しくなりつつあります。従来 of 学部の上に大学院修士、博士を養成する課程を設けている大学は非常に増えており、さらに大学院のみを持つ大学院大学も存在します。

日本が昭和30年代から40年代の高度成長期にあった時代は、企業で人を育てるという考え方が一般的であり、一部の企業の中には大学の教育には期待しない、というような風潮があったことは確かです。しかしながら、近年では企業はますます効率化が求められ、研修を行う余裕はあまりないのが実情です。高度に発達した社会においては、大学院レベルの知識を習得することが求められつつあります。

海外の企業ではこの傾向が顕著であり、企業の規模にかかわらず、修士や博士の学位を持つ人が非常に多くなっています。本学において、中国、東南アジアをはじめ、様々な国々から多くの留学生がいますが、彼らのほとんどは大学院の修士、博士を目指しています。特に理系においては、この傾向は顕著です。修士、博士の学位をもつ者は、海外であっても国内であっても、将来のリーダーとしての役割を期待されていることに変わりなく、より高度な職務につく可能性が大きいと言えます。

大学院生には、高い見識と能力を身に付けることが要求されます。そのため、研究テーマについてある程度自分でどのように研究すべきかを考え、自ら調査・分析を行い、あるいは自ら実験装置を作成し実験結果を得ることにより、その結果をまとめて学会等で発表することが求められます。このような過程でさらに高度な独創性、問題解決力、コミュニケーション能力を修得していきます。

また、分野を問わず、ほとんどの企業が海外と取引、あるいは海外で生産を行っている時代となっており、まったく国内だけで活動している企業はほとんどありません。大学院では、文系・理系を問わず、国際会議に出席し研究発表を行っている学生が多数います。国際的な教育研究活動を通じて、国際感覚を養うことは、大学院修了後のキャリアにぜひとも必要なことと考えます。学生諸君には、ぜひ大学院を目指していただきたいと思っています。

(4) むすび

大学で学ぶ意味、大学院進学について述べました。大学では、専門の分野での知識やそれを運用する能力であるリテラシーと、コミュニケーション能力、独創性、問題解決力のようなコンピテンシーの両方を養成する教育・研究を行うことが特色となっています。

本学ではこのような能力の養成に向けて、学生諸君の教育に不断の努力を重ねていく所存ですので、ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上

ぜひご利用ください!

保護者ポータルサイト

大阪産業大学では、保護者と学生(ご子息ご息女)と大学を繋ぐツールとして、「保護者ポータルサイト」を発信しています。「お知らせ」や「イベント案内」などの最新情報やご子息ご息女の時間割や成績表も確認できる独自の Web システムです。ぜひ、ご利用いただきますようご案内いたします。

主な機能

①お知らせ、個人伝言

大阪産業大学及び後援会から最新的话题や情報等を提供する掲示板です。

②時間割

ご子息ご息女が履修している時間割を閲覧することができます。

③イベント一覧

後援会が実施するイベントなどの参加の申込みをすることができます。

④成績表ダウンロード

ご子息ご息女の成績表をダウンロードすることができます。

⑤メール通知設定

大阪産業大学及び後援会からのお知らせやイベントの開催案内などを設定された方にメールでも通知します。



「成績表ダウンロード」から子供の成績チェックができるので、いろいろ話げできました。

「イベント一覧」からイベント開催を知ることができ、参加の予定が立てやすくなりました。

「時間割」をチェックして今、授業中かが分かるので連絡しやすくなりました。

★
ご利用の保護者の方々から、
こんなメッセージをいただきました

★
「時間割」チェックで注意したら、サボることが無くなったかな(笑)。

★
「時間割」で、今日何時頃に帰ってくるのか分かるようになった。

保護者ポータルサイト
へのアクセス

大阪産業大学 保護者ポータルサイト

検索



ユーザーID/パスワードについて

本学の保護者ポータルサイトを利用する場合に必要となります。

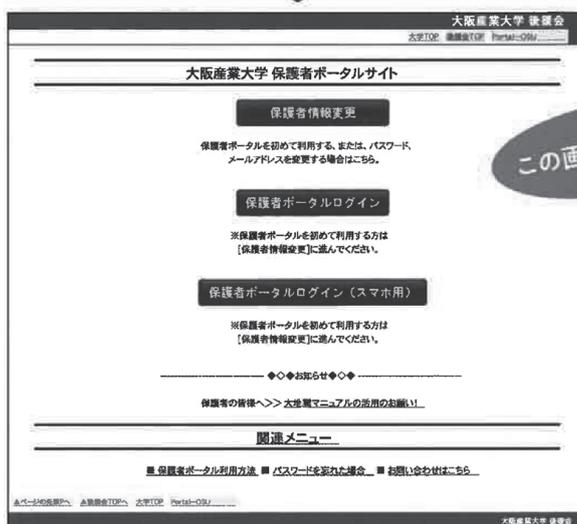
ユーザーID/パスワードは下記の通りです。

保護者ポータルサイト メニュー画面

URL

<http://wr19.osaka-sandai.ac.jp/cnt/pp29/pp29top.html>

QRコード



ユーザーID	p+ご子息ご息女の学籍番号 (学籍番号22A999の場合→p22a999)
初期パスワード	mg6u+ご子息ご息女の生年月日(8桁) (2003年1月1日生まれの場合→mg6u20030101)

注1) 保護者ポータルに初めてログインした後必ずパスワード変更を行い、各自が責任を持って管理してください。

注2) パスワードを忘れた場合、パスワードの再設定にメールアドレスの登録が必要です。必ずパスワード変更時にメールアドレスを登録してください。

今後の後援会行事のご案内

●第50回 定期総会

日 時 令和6年5月11日（土） 11時00分～11時50分

場 所 大阪産業大学 本館 多目的ホール

※定期総会から引き続き就職講演会にご参加の方には、
学食メニューを体験していただくことができます。

●保護者向け就職講演会ならびに学科別就職説明会

日 時 令和6年5月11日（土） 13時00分～15時50分

場 所 就職講演会 大阪産業大学 本館 多目的ホール

学科別就職説明会 大阪産業大学 各講義教室

●地区教育懇談会

成績・授業出欠状況・クラブ活動・奨学金・留学〈研修〉・資格講座・就職等で学科教員と専門職員による個別相談会を行います。

令和6年度地区教育懇談会実施表（予定）

地区	実施日	会場
山陰地区	6月22日（土）	米子ワシントンホテルプラザ
滋賀地区	6月23日（日）	ホテルポストプラザ草津 びわ湖
東海地区	6月29日（土）	TKP名古屋駅前カンファレンスセンター
九州地区	6月29日（土）	TKP博多駅前シティセンター
京都地区	7月6日（土）	ホテルグランヴィア京都
三重・奈良地区	7月13日（土）	ホテル日航奈良
四国地区	7月13日（土）	J Rホテルクレメント高松
西中国地区	7月20日（土）	広島ガーデンパレス
北陸地区	7月21日（日）	ANAクラウンプラザホテル金沢
岡山地区	7月21日（日）	ホテルグランヴィア岡山
大阪地区	7月27日（土）	シェラトン都ホテル大阪
和歌山地区	7月28日（日）	ホテルグランヴィア和歌山
兵庫地区	8月3日（土）	ANAクラウンプラザホテル神戸

詳細は、後日後援会ホームページに公開させていただきます。



後援会HP